

月刊

み・ら・い

2023

10

Vol. 259



百瀬智宏「初霜」

回覧捺印		
月 日	月 日	月 日
月 日	月 日	月 日
月 日	月 日	月 日

目次

トップインタビュー TOTO株式会社 代表取締役 副社長執行役員 白川 敬	2
Opinion 蓄電池のパワーシフト ～固体が変える社会～	4
国内外の経済環境	6
住宅・建築動向	8
日本政策総研 経済見通し (9/30 改訂)	10
素材価格	12
セグメント別市場動向	13
メーカーアンケート	14
みらい市 東京 WEB みらい市	31
住まいを取り巻く建築雑談 最近の建築関連法改正等4号特例とは⑤	32
住まい方へのアプローチ③⑧ 住宅リフォーム～動機付けがポイント	34
空調統計	36
チラシくん	37
おすすめ商材	40



編集責任 みらい会事務局
03-3665-9009 (直 通)
03-3662-7687 (FAX)
web 月刊みらい
www.monthlymirai.com



TOTO株式会社
代表取締役 副社長執行役員
白川 敬

「持続可能な社会」と 「すべての人に快適で 健康な暮らし」の実現を目指す

はじめに

平素は、弊社製品をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。
さて、新型コロナウイルスの世界的流行から3年以上が経過し、ようやく5類に移行となり、新たな日常へと踏み出しました。いっぽうでロシアのウクライナ侵攻や米中対立、中台の緊張関係など世界情勢は依然不透明で、想定外の環境変化は今後も起こり得ますが、コロナ禍で芽生えた住環境整備への意識はさらに強くなり、ライフスタイルの多様化とともに住宅業界を取り巻く環境変化は加速し、徐々に明るくなっていくと思います。この変化に対応していくため、引き続きデジタルでの取り組みを進化させながら、リアルだからこそできる営業活動・価値提案に注力していく必要があります。みらい会会員の皆様と共に、取り組みのスピードを上げ、住宅／パブリックリモデル市場双方を更に盛り上げていきたいと考えております。何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

経営方針と営業戦略

■WILL 2030で目指す姿の実現に向けて、サステナビリティ経営を推進する

「健康で文化的な生活を提供したい」。

創業以来の想いを胸に、私たちはさまざまな取り組みを続けています。この想いは「TOTOグループ企業理念」として社員一人ひとりに受け継がれ、ものづくりや販売活動の原点になっています。2021年に発表した新共通価値創造戦略TOTO WILL2030では、「きれいと快適」「環境」「人とのつながり」を企業理念の実現にあたって取り組むべき重要課題、マテリアリティと位置づけています。

地球環境に負荷をかけずに豊かで快適な社会を実現するとともに、経済的成長を目指すことによって、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」にも貢献していきます。TOTOグループは、これまで「経営とCSR（企業の社会的責任）の一体化」を図りながら

価値創造に取り組んできましたが、この「CSR」をさらに発展させ、持続可能な社会の実現に向けた「サステナビリティ」へと進化させ、推進いたします。

2023年度は、WILL 2030 STAGE1仕上げの年として、事業軸、革新タスク軸とも掲げた重点課題の解決を確実に実行し、目標達成への意思の強さが試される1年となります。また、同時に2030年、2050年の目指す姿を見据えながら、STAGE2、STAGE3の仕込みを始めるタイミングになります。TOTOグループのビジョン「強く・明るく・美しい会社を目指して」のとおり、一人ひとりが自ら活動し、今後の飛躍にきちんとつなげる1年にしたいと思います。

これら全社方針のもと、日本住設事業の活動の柱は「あんしんリモデルの進化」と「パブリックリモデルの加速」です。WILL2030 STAGE1の最終年、デジタルとリアルのもっとアクティブに、そしてもっとスピードを上げて顧客接点、価値伝達活動を強化していきます。

■あんしんリモデルの進化（住宅リモデル）

あんしんリモデルは、「創業者の想い」である「どうしても親切が第一」に基づき、「あんしん」を高める取り組みを実践していく活動です。夢のリモデルを実現できるよう、お客様視点に立ち、デジタルとリアルの両面で3つの価値（夢みつかる、みえる・わかる、カタチになる）を提供します。そして、住宅リモデルの需要喚起・獲得を図り、お客様の笑顔を増やしていきます。2022年度にお客様のリフォーム検討プロセスに関する調査を行った結果、「予算→完成イメージ→製品→事業者」の順序で意思決定がされる傾向であることが改めて分かりました。2023年度は各項目の実践を強化していきます。

～デジタルで一步踏み出す“感動”を～

WEBサイトでは、「参考価格パターン」「商品・機能提案」「事業者の比較検討機能」などのコンテンツを拡充し、お客様の不安解消ならびに夢のリモデル実現に進んでいただくための情報提供を強化していきます。



システムキッチン「ザ・クラッソ」
reddot 賞
[best of the best] 受賞



「ネオレスト」発売 30 周年/
最新のネオレストシリーズ



8月発売ウォシュレット
「アプリコット」

～リアルでの価値提供を進化～

ショールームでは、費用に関する不安を解消し、最適な商品・プランを後押しできるよう、さらなる提案力の向上を目指します。また、お客様が身近な事業者にあんしんして相談できるよう、事業者とともに施工品質向上に取り組んでいきます。

■パブリックリモデルの加速

お客様のニーズに合わせた新たな価値提案を、タッチレス・デジタルで加速させ、「清潔で快適な日本のトイレ文化」を世界に発信していきます。

パブリック新商品が多く発売される 2023 年度は、新商品をフックに需要の喚起・獲得に注力します。また、引き続き、パブリックトイレにおけるIoTサポートサービスの効果検証・採用拡大、パブリックリモデルにおける重点用途（オフィス、工場、病院、学校）への活動を強化していきます。

■デジタルを活用した販売活動の進化

セールス・ショールーム・営業センター・パートナー相談室間でデジタルによる連携強化をさらに図り、ビジネスユーザー・お客様に関する情報をタイムリーに共有し、顧客攻略のスピードアップとTOTOファンの拡大を図ります。

2021 年度にセールスの活動を支援する新営業支援ツールを導入し、「営業活動見える化」「全国のセールス間での顧客攻略事例などのナレッジ共有」「セールス・営業センター間でのタイムリーな顧客情報連携」など、各メニューの順次拡充を図り、販売体制基盤は強固なものになりました。2023 年度は今まで以上に新営業支援ツールを活用し、質の高い訪問活動により、事業者へのお役立ちを実践することで、さらなる顧客攻略活動の拡大を加速していきます。

■#水まわり嬉しい

昨年8月の4部位商品一斉発売ではコロナ渦による

制約がある中でも、「世界に示していない新しい価値」を果敢に届けようとする姿勢に「元気をもらえた」という評価が高まったのは嬉しいことでした。商品のデザインや機能の進化だけでなく、TOTOの「心」がお客様の共感を呼ぶことにつながりました。

TOTOトイレの最上位シリーズとして最先端の技術とデザインでレストルームの新たな文化を創造し続けてきた「ネオレスト」は誕生から30年。プロモーションや特設ホームページ、ミュージアム企画展等あらゆる接点で訴求します。2023年度は累計出荷台数が6,000万台を突破したウォシュレットの最上位モデル「アプリコット」が8月に生まれ変わりました。コロナ渦が生み出した新しいニーズに対応し、お掃除しやすく、洗練されたデザインに進化。お客様の清潔ニーズ上位の便座裏のきれいさを長持ちさせる「便座きれい」をF4グレードへ搭載しました。きれいで快適な生活文化を提案しながら、グローバルでの成長を加速させます。また、システムキッチン「ザ・クラッソ」が国際的権威のあるデザイン賞であるreddot賞「best of the best」に選出され、世界的に認められました。TOTOならではの「デザイン」と「テクノロジー」を高度に融合させた新たな価値づくりを行ってまいります。

これらの製品の価値をお伝えする熱気のある場が全国各地で開催される「みらい市」そして全国の弊社ショールームでのイベントです。こうした機会を是非ともご活用賜りますようお願い申し上げます。

経営方針と営業戦略

今年度も「あんしんリモデル」「パブリックリモデルの加速」をはじめとするTOTOならではの提案・商品・サービスを通じ『持続可能な社会』と『きれいで快適・健康な暮らし』の実現を目指してより一層の努力を致します。本年度もみらい会会員様との協業体制を強化し明るい未来を切り拓いていきたいと考えております。引き続きご愛顧、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



蓄電池のパワーシフト ～固体が変える社会～

宮脇 淳

株式会社日本政策総研代表取締役社長
北海道大学名誉教授

エネルギー問題は、生産・蓄積・伝達、消費、さらに一連のプロセスで生じる負の遺産の処理まで視野に入る内容です。この問題の中で、従来の経済社会を支えてきた電力の存在が大きく変わろうとしています。

|| 従来型電気供給システムの限界

変化のトリガーのひとつが電気自動車です。政府は2035年までに新車販売をすべて電気自動車等に転換する目標を掲げていますが、一般家庭や企業で電気自動車が広く利用される状況では、一日又は季節によって電力需給のひっ迫が不可避となります。今の生活スタイルが変わらないとすると、個人も企業も一日の仕事が終わった平日の夕方から夜に充電が集中する可能性が高まります。また、季節によっても大きく変動する可能性があります。

こうした集中・変動に対して、現在のような一定の電気供給量を前提とした大規模発電所方式の供給システムでは、猛暑や災害時等の電力消費規制でも体験したように、需要変化への機動的対応は極めて難しくなります。臨機応変な対応には、供給側・需要側に分けるのではなく、需要側でも余剰電力がある場合、相互に直接融通し合う仕組み、すなわち需要側のエネル

ギーリソースを供給システムとして転用するバーチャルシステムの構築が不可欠となります。

|| 仮想発電の仕組みづくり

具体的には、経済産業省が義務化を目指す「電気自動車の充電を遠隔制御し、電力需給を最適化する制度」があげられます。それは、電気自動車の充電器を遠隔制御し、需給バランスを踏まえて余剰電力を最適なタイミングで活用できるシステムの搭載をメーカー等に義務づけるものです。太陽光をはじめとする家庭等の小規模エネルギー源を、IoT (Internet of Things:モノのインターネット) を活用することで、電力会社の中央給電調整に変わり需給責任会社等が遠隔操作で調整する仕組みです。ネットワーク全体が実質的に発電所として機能するため、仮想発電所 (VPP: Virtual Power Plant) と称されます。生活空間が実質的に発電所機能を持ち結び付き、電気自動車だけでなく地域の電力需給の調整も可能なため、地産地消的な性格も持ちます。

VPPの仕組みは、家庭など小規模リソースごとに機器や権利設定をどう行うかからはじまります。そして、戸建・集合住宅全体の設置運営管理、個別住宅内

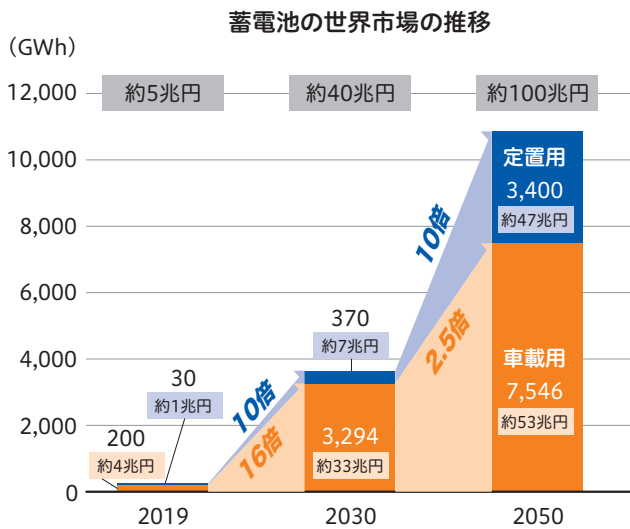


図1 (資料) 経済産業省「蓄電池産業戦略」(2022.8)

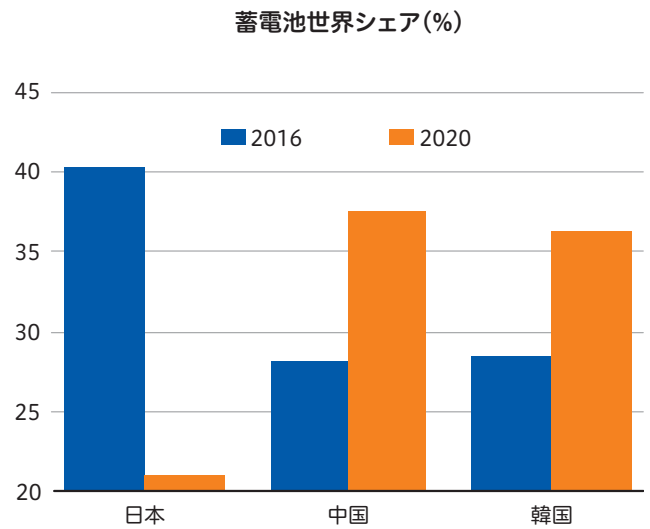


図2 (資料) 経済産業省「蓄電池産業の現状と課題について」(2021.11)より作成

の設備機器運用管理、供給過大時に需要を促し需要過大時に抑制を求めるディマンドレスポンス (DR) の導入とその運用機能の設定、調整された電力量に従って報酬金を支払う市場のあり方など、建設及び設備管理等にも新たな需要をもたらします。

カギを握る全固体電池技術

V P Pのカギを握るひとつの存在が蓄電池です。蓄電池市場は大きく拡大しています (図1)。現在、蓄電池は液系リチウムイオン型が主流です。液体電解質をイオンが通過し放電・蓄電する仕組みです。幅広く使用されていますが、発火の危険性、リサイクル・廃棄の難しさ、形態制約等不便な点も存在します。こうした課題を克服し利便性を向上させるため、液体電解質を固体化した全固体電池の開発が進んでいます。

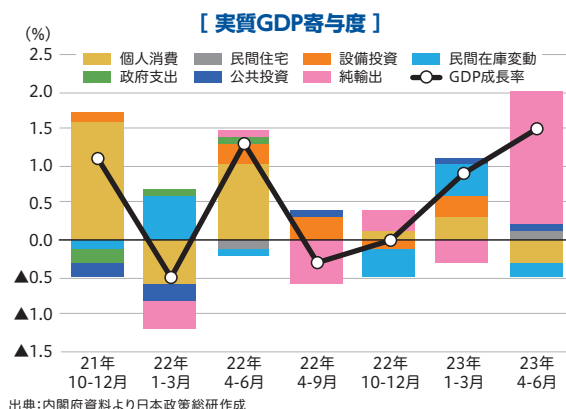
全固体電池は、構造や形状が自由であり大容量化や高速での充電・放電が可能で、固体のため丈夫であるという利点も存在します。全固体電池は電気自動車関連の開発として注目されていますが、V P P等を通じて住宅設備とも密接な関係を持ちます。太陽光発電の設置が進み電気自動車の充電等、住宅や建築物の個別電源としての重要性が高まります。今開発中の全固体

電池は、薄膜型 (センサー等小型デバイス用) とバルク型に分かれます。バルク型は、大容量でパワーも強いので電気自動車や住宅等に適しています。全固体電池の開発は、トヨタ自動車、日産自動車等に加え、日立造船、TDK、日本ガイシ等多くの日本企業が取り組んでいます。

蓄電池の世界市場では、当面は電気自動車搭載需要が中心ですが、それに続くのが住宅やオフィスビル等への定置型需要です。しかし現在、蓄電池に関する日本の世界市場でのシェアは、中国や韓国に大きく押され低下しています (図2)。技術開発の優位性に加えマーケティング戦略もカギとなる中で年々競争が激しくなっています。2000年以降の固体電池関連の特許保有件数を世界知的所有権機構のデータで見ると、トヨタ自動車トップ、続くのがパナソニックHD、出光興産等であり、サムスン電子等韓国企業はそれに続く保有件数となっています。しかし、中国・韓国企業の特許出願・取得件数は急速に増えており、加えて米国はリチウム電池国家計画、EUはバッテリーアライアンスの設立等戦略を展開しており、日本においても技術開発に加え、需要拡大に向けた支援政策と企業戦略の展開が不可欠です。今後の住宅建設の規格化の中で、蓄電池やV P Pの仕組みを如何に組み込むか市場を左右する重要な戦略となります。

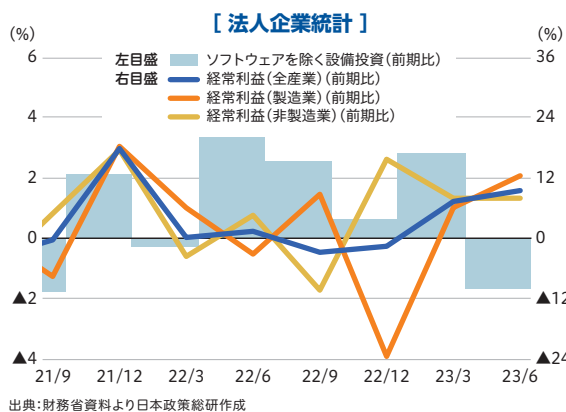
日本 見た目は高成長も、中身に不安

23年4-6月期GDP（二次速報）は558.6兆円、成長率は前期比+1.2%、年率換算で+4.8%となり、3四半期連続でプラス成長を維持。また、水準としても消費増税前の2019年7-9月期（557.4兆円）を上回り過去最高額となった。但し、輸入の減少が成長率の押し上げに大きく寄与した一方、個人消費や設備投資といった内需に弱さが見え、内容的には不安材料が散見される。



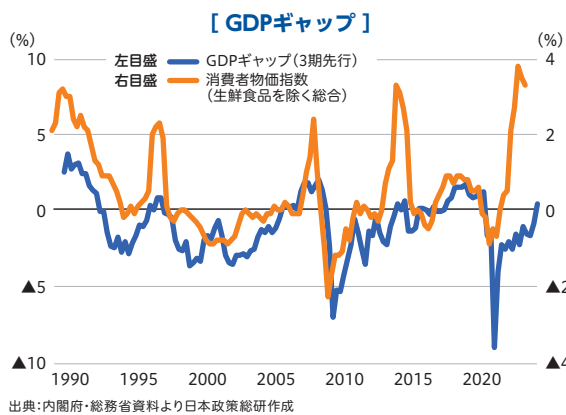
日本 国内企業の収益は上々も、設備投資は鈍化

4-6月期法人企業統計によると、全産業の経常利益は前期比9.5%（季調済）と2四半期連続の増益となった。内訳では、製造業は部品不足が解消し挽回生産が進む自動車産業がけん引し2四半期連続、価格転嫁の進展やインバウンドといった追い風を受け、サービス業は3四半期連続での増益となった。一方、設備投資については5四半期ぶりのマイナスとなり、一服感がみられた。



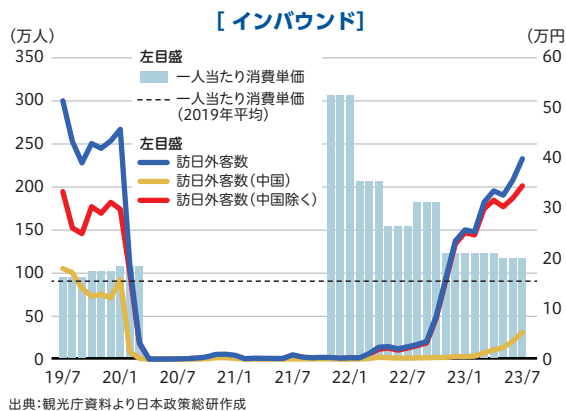
日本 約4年ぶりのプラスに

内閣府によると、4-6月期のGDP成長率を受け、国内経済全体の総需要と供給力の乖離であるGDPギャップが19年7-9月期以来約4年ぶりにプラスとなった。足元では、昨年来の輸入物価の影響で食料品を中心としたコストプッシュ型のインフレ状況となっているが、今後GDPギャップのプラス、すなわち需要拡大が継続し、持続的なインフレにつながるかが注目される。



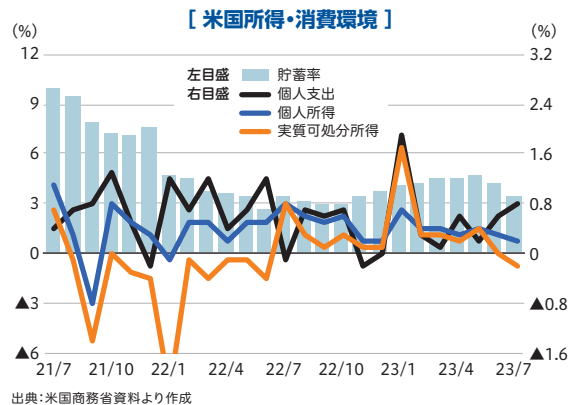
日本 中国を除く外客数はコロナ水準越え

訪日外国人数は回復が継続し、7月統計ではコロナ前（2019年）対比77.6%まで回復。また、日本向け旅行が制限されていた中国を除くベースでは、2019年の水準を超えた。中国政府により日本向け団体旅行が解禁されたことから更なる増加が期待されるものの、中国经济自体の不調や処理水問題を背景とする対日感情の悪化により、期待外れとなる可能性がある点には警戒が必要である。



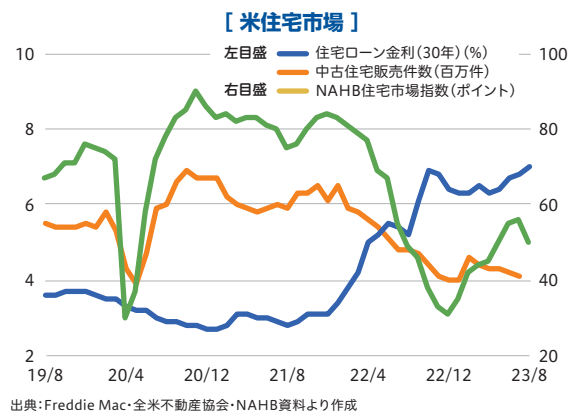
米国 足元の消費は堅調も、先行きに不安

米国の個人支出は前月比+0.8%と消費活動の堅調さが示された。ただし、個人所得は前月比+0.2%にとどまり、実質可処分所得が昨年6月以来のマイナスとなるなか、貯蓄率の低下もみられており、貯蓄を切り崩しながら消費活動を維持している状況となっている。雇用に鈍化傾向がみられることや、金融機関の貸出基準が厳格化しつつあること等から、消費の先行きには下振れリスクが高まっている。



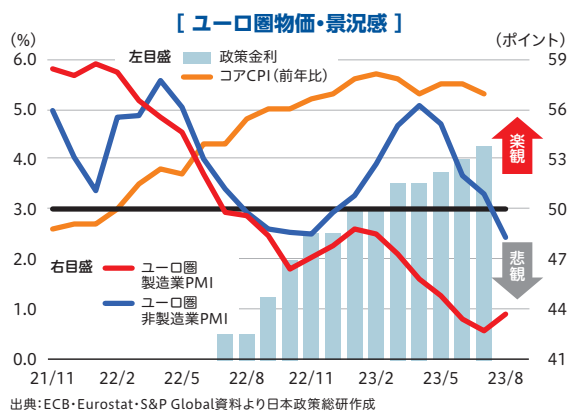
米国 ローン金利上昇で住宅市場回復に一服感

住宅市場の景況感をあらわす住宅市場指数が8か月ぶりに悪化したことに加え、中古住宅販売に減少傾向がみられるなど、回復傾向にあった住宅市場に一服感がみられている。背景には、一時低下の兆しを見せていた住宅ローン金利が再上昇し、再び7%台に達したことがある。今後も、金融政策の影響からローン金利の高止まりが予想され、住宅市場回復が腰折れないか注視する必要がある。



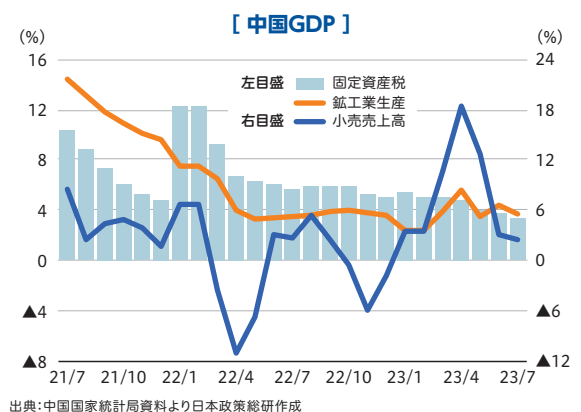
欧州 物価の伸びには鈍化の兆しも、景況感は冴えない

ユーロ圏では、ECBの連続利上げにより、物価上昇が鈍化し始めてきている。一方、金融環境の引締め等を背景に景気への不安感が高まり、景況感をあらわすPMIが製造業のみならず、非製造業でも楽観・悲観の境である50を下回っている。物価は上昇が鈍化したとはいえ、依然として5%を超える水準となっており、ECBは物価上昇抑止と景気の狭間で難しい判断を迫られ続ける。



中国 コロナ後の回復が腰折れ

中国では、生産・消費共に昨年末の新型コロナ政策の転換により、一時持ち直したものの回復途中で腰折れた格好となっている。中国当局も景気対策に前向きな姿勢を示すとともに、人民銀行が政策金利引き下げに動くなどしている。しかし、景気悪化の背景には若年層の高失業率や不動産市場の債務問題など構造的問題をはらんでいることから、当面は景気の二番底を探る可能性がある。



問合せ先：日本政策総研首席エコノミスト 村井慎吾 (murai@j-pri.co.jp)

住宅・建築動向

需要動向

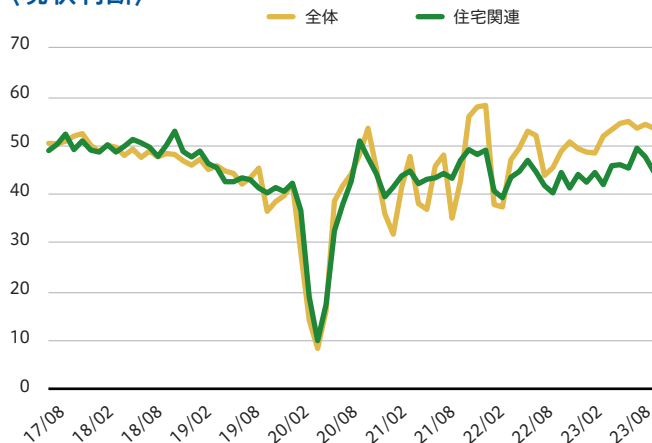
日本政策総研 主席エコノミスト 村井 慎吾

出典：内閣府資料より作成

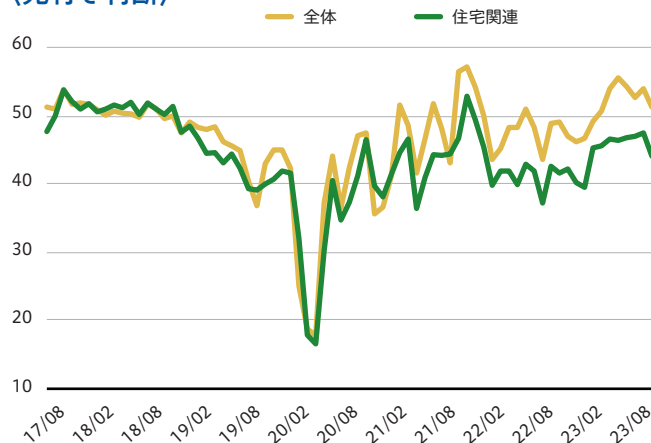
景気ウォッチャー調査			
現状		先行き	
全体	住宅	全体	住宅
53.6	44.7	51.4	44.2

8月は住宅関連の足元景況感である「現状判断」が、44.7と先月（47.7）から悪化。猛暑の影響から空調関連の需要は堅調も、価格高騰がマインドを冷え込ませていた。加えて、2～3か月先の景況感を示す「先行き判断」も44.2となり先月（47.6）から悪化。原材料価格や人件費の高騰に対する警戒感が継続するなか、金融機関による住宅ローン金利引き上げを懸念する意見が増加した。

〈現状判断〉



〈先行き判断〉



〈景気の先行きに対する判断理由〉

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	地域
やや良い	建設業	こどもエコすまいる支援事業の締切りや、住宅ローン減税が来年より減額になることから、年内中の契約と入居が必要であるため、動きが少し活発になるかもしれない。	東海
	住宅販売会社	長期休暇後に客が高額の購入を検討する傾向が考えられる。	中国
	住関連専門店	単価の高い秋冬商材が動くため、景気改善が見込まれる。しかし、暖冬の影響で需要が落ち込むことが懸念される。	九州
変わらない	住宅販売会社	建築コストが下がらず販売単価が高止まりしていることから、客の住宅ローンの借入額が大きくなっている。金利上昇によって必要額の借入れが困難になるおそれもあること。	北海道
	住関連専門店	リフォーム業界では、補助金事業の終了がみえてきた現状でも、引き合い、契約共に前年を上回る水準で推移している。今後しばらくは底堅い需要に支えられ、好調を維持する。	東京都
	住関連専門店	今年春頃から、この2～3年止まっていたリフォーム工事や新築工事等が見積りや契約に動いていたが、それらが一巡した状況。新たな工事の見積りや契約へ進みたいが、先の見通しがみえにくいため、やや躊躇するオーナーが出ている。	東海
	その他住宅 【情報誌】	不動産市況については、横ばいの動きが続くそうであるが、住宅ローン金利の動向次第では、影響を受ける可能性がある。	近畿
やや悪くなる	住宅販売会社	金融機関の固定金利の上限引き上げ、原油価格の高騰など不安材料が多々あるため、正直なところ景気は落ち込んでいくように感じる。建築費の高騰や地価の高止まりもあり、利回り商品としては厳しい。	南関東
	その他住宅 【住宅資材】	例年下期が建材の繁忙期という傾向は過去の話。どのメーカーも一定水準を望んでいるが、その一定を維持できるほどの案件もみえてこないなかで、資材高騰と価格重視の物件獲得で板挟みになっている。	東京都
	住宅販売会社	原材料の値上げが続いているため、価格上昇が収まらない状態である。展示場の来場者数も減少しており、厳しい状況はもう少し続きそうである。	北陸
	住宅販売会社	開発事業用地を仕入れ済みのデベロッパーが、建設費の高騰に伴って事業を中断するケースが出始めている。いつまでも開発事業用地を保有し続けることは困難なため、価格を下げて売却する動きが増える可能性が高い。	近畿
悪くなる	住宅販売会社	同業者をみても売行きが悪く在庫が膨れ上がっている。先行き不透明で不安である。	東海
	住関連専門店	電気料金やガソリン価格の値上げなど、家計を圧迫する要素が多く、不透明な経済状況による影響を懸念している。	北陸

着工動向

出典：国土交通省資料より作成

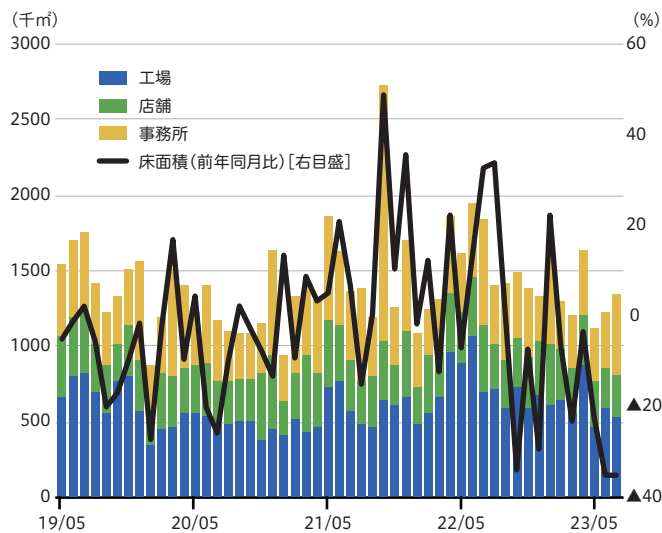
建築着工						単位 (千㎡、%)
全体	民間非居住用	事務所	店舗	工場	倉庫	
9,261	3,195	518	287	538	817	▲17.7 ▲31.1 ▲27.2 ▲34.4 ▲22.6 ▲45.0

昨年同月の大幅な増加の反動から前年同月比で、事務所・店舗・工場・倉庫の全てが減少し、全体でも6ヵ月連続の減少となった。

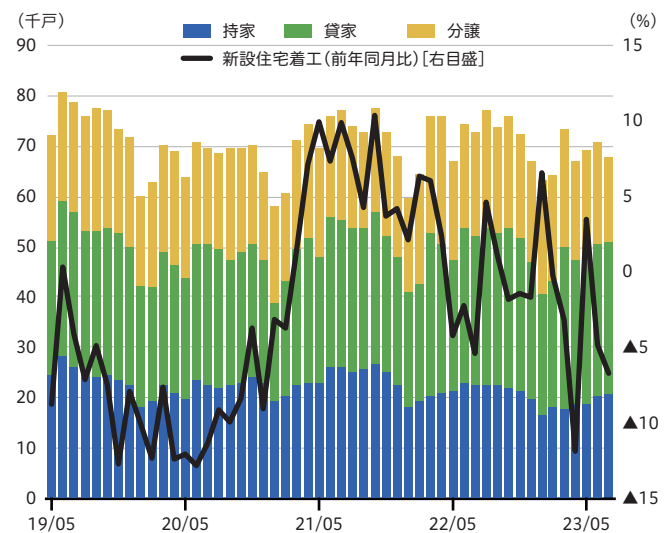
新築住宅着工						単位 (戸、%)
全体	持家	貸家	分譲	うちマンション	うち一戸建て	
68,151	20,689	30,170	16,979	5,797	11,066	▲6.7 ▲7.8 1.6 ▲17.6 ▲28.0 ▲11.2

前年同月比で、貸家こそ2か月ぶりの増加も、持家が20ヵ月連続で減少と不振が継続したことに加え、分譲住宅も2ヵ月連続で減少となったことから、全体では2ヵ月連続の減少となった。

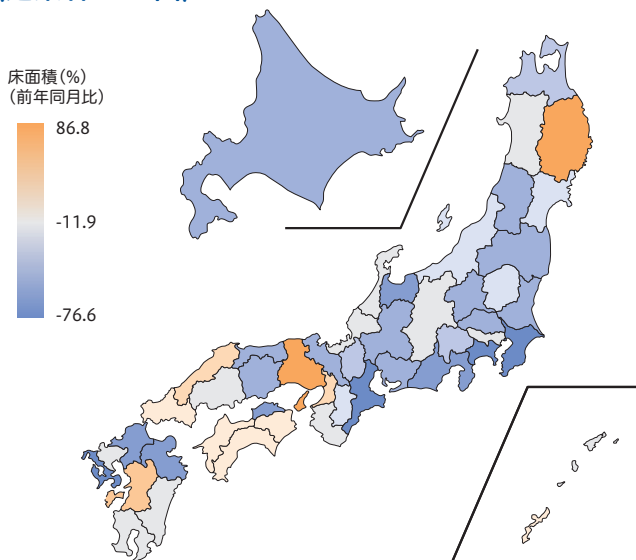
〈建築着工推移〉



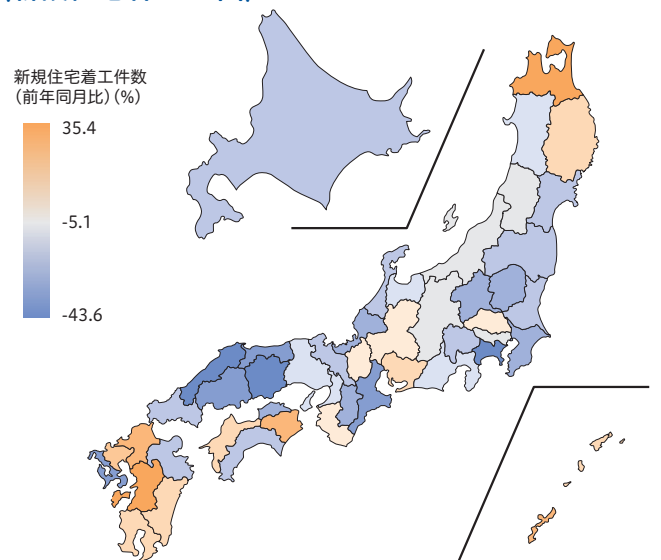
〈住宅着工推移〉



〈建築着工 全国〉



〈新設住宅着工 全国〉

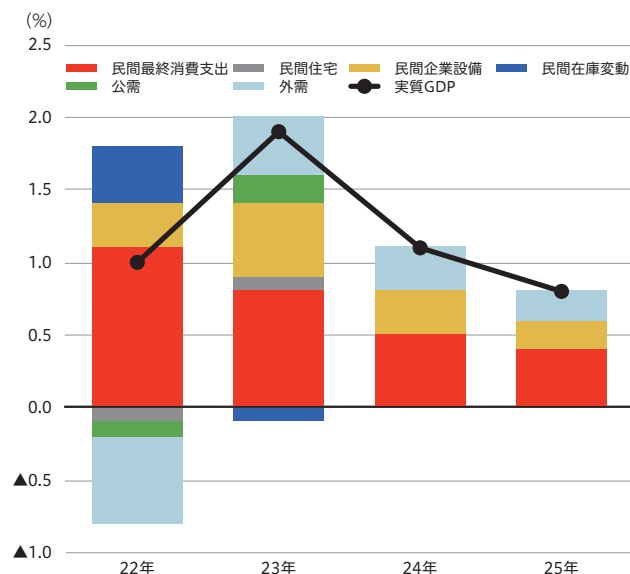


問合せ先：日本政策総研首席エコノミスト 村井慎吾 (murai@j-pr.co.jp)

日本政策総研 経済見通し (9/30改訂)

村井 慎吾 日本政策総研
主席エコノミスト

	実質GDP	内需 (寄与度)	外需 (寄与度)	民間消費	民間住宅	企業設備投資	公需	輸出	輸入
22年	1.0	1.6	▲0.6	2.1	▲3.5	1.9	▲0.1	5.1	8.0
23年 (予測)	1.9	1.5	0.4	1.5	2.5	3.0	0.8	1.2	▲1.0
24年 (予測)	1.1	0.8	0.3	0.9	▲0.2	1.8	0.2	2.3	1.0
25年 (予測)	0.8	0.6	0.2	0.8	0.1	1.1	0.2	2.5	1.3
22年度	1.4	1.9	▲0.6	2.5	▲3.0	3.1	0.0	4.5	7.2
23年度 (予測)	1.7	1.0	0.7	0.9	2.5	2.5	0.7	1.8	▲1.9
24年度 (予測)	0.9	0.7	0.2	1.0	▲0.1	1.3	0.2	2.2	1.3
25年度 (予測)	0.8	0.6	0.2	0.8	0.2	1.2	0.2	2.6	1.4



予測前提

【ドル円 (1ドル)】 2023年末: 140円 2023年度末: 137円 2024年末: 130円
2024年度末: 128円 2025年末: 125円 2025年度末: 123円

【原油価格 (WT I) (1バレル)】 2023年末: 82ドル 2023年度末: 82ドル 2024年末: 83ドル
2024年度末: 83ドル 2025年末: 84ドル 2025年度末: 84ドル

1 国内経済見通し

1-3月期の日本経済は、新型コロナ収束後の行動制限緩和による消費活動の活発化、コロナ禍で抑制されていた繰越需要やGX・DX対応の設備投資といった内需を中心に成長がみられた。一方、4-6月期には昨年的大幅な輸入物価の上昇を受け食料品を中心に企業の価格転嫁が長引いたことに加え、海外景気に不透明感が高まったことから内需が落ち込み、輸入の減少を主因とする外需が成長率を押し上げた。

年後半は、個人消費は物価上昇に歯止めがかかりつつあることに加え、政府による支援策の延長も決まったことから底堅く推移していくと見込む。ただし、実質賃金のマイナスが継続するなか大幅な改善は期待しにくい。設備投資は、企業による投資意欲の強さは継続するものの、欧米金融当局による引締め効果がタイムラグを置いて顕在化し始めるとともに、中国経済の先行き不透明感が高まっていることから実施見送りを決定する企業も増加しよう。輸出については、引き続き訪日外客数の増加によるインバウンドの増加は追い風になると考えられるもの、海外経済の不透明感の高まりが重しとなる。

2024年以降は、コロナ禍からの回復という大きな流

れの中で潜在成長率を上回り推移するものの、抑制需要が発散されていることに加え、政策効果が剥落していくことから成長の速度は徐々に鈍化すると見込む。

物価については、世界的な商品市場の安定や、円安の進行速度の鈍化や一服感から、財価格の上昇率は低下傾向を継続しよう。一方、経済再開やインバウンド需要の増加による人手不足等を背景とするサービス価格については緩やかな上昇が継続しよう。

日銀は基調的な物価上昇と2024年春闘の状況を見極めながら、2024年前半に長短金利操作（イールドカーブコントロール）政策の撤廃を決定するとともに、2024年後半にはマイナス金利解除に踏み切ると予測する。

2 海外経済見通し

■ 米国

2023年前半の米国経済はコロナ禍での大規模な財政出動により家計に積み上がった超過貯蓄の残滓の影響や、経済再開に伴う人手不足を背景に労働市場が堅調に推移し賃金上昇が継続したことに加え、財価格を中心にインフレ率の上昇ペースが鈍化し始めたこともあり、景気の大黒柱である消費がけん引する形で景気

拡大を見せていた。年後半は、コロナ禍で積み上がった家計の超過貯蓄が限界を迎えるとともに、FRBによる金融引締めの影響が波及し始め金融機関による貸出態度が厳格化していることに加え、奨学金の返済繰り延べ等政策効果が剥落していくことで、消費活動が弱まり景気は減速基調となろう。生産活動についても、連邦準備制度理事会（FRB）による金融引締めが継続していることに加え、欧州や中国経済が振るわない中でもたつく動きとなろう。また、住宅市場についても潜在的な需要はありつつ、住宅ローン金利の高止まりがブレーキとなり、一進一退での推移を見込む。

2024年以降は、FRBによる金融引締めが継続するなか、雇用市場の鈍化や消費の減退が継続し成長率が鈍化するものの、金融政策の転換を受け成長率は再度上昇しよう。

物価は雇用市場の鈍化や、消費活動の弱まりをうけ徐々に低下すると見込む。FRBは物価の高止まりに対する警戒感を維持しつつも、年内は現状の政策金利を維持すると見込む。その後、物価の基調を見極めつつ2024年後半には金融政策を転換し利下げを開始すると想定。

■ ユーロ圏

2023年前半のユーロ圏経済は、世界的な巣ごもり需要の一巡から財消費が低迷する中で、物価高が継続しECB（欧州中央銀行）による金融引締めが早いペースで進んだこともあり成長率は停滞した。年後半、堅調な雇用市場が下支えとなるものの、物価高が消費活動を圧迫することに加え、ピークアウト感は見えつつも物価が高水準に位置することからECBによる金融

引締めが継続し企業活動の逆風となり、景気は低空飛行を続ける可能性が高いと想定する。加えて、貿易を通じ関係の深い中国経済の先行きに不透明感が高まっていることも不安材料であり、マイナス成長に陥る可能性も否定できない。2024年以降も経済の伸び悩みが継続すると考えられるが、経済活動の停滞と共に物価上昇が鈍化し、ECBによる金融引締めが緩和するとともに徐々に成長ペースを取り戻そう。

ECBは景気悪化と物価高止まりの板挟み状況の中で、当面は現在の政策金利水準を維持しよう。その後、物価上昇の鎮静化を確認したうえで、2024年中ごろに金融政策を転換し利下げを開始すると想定する。

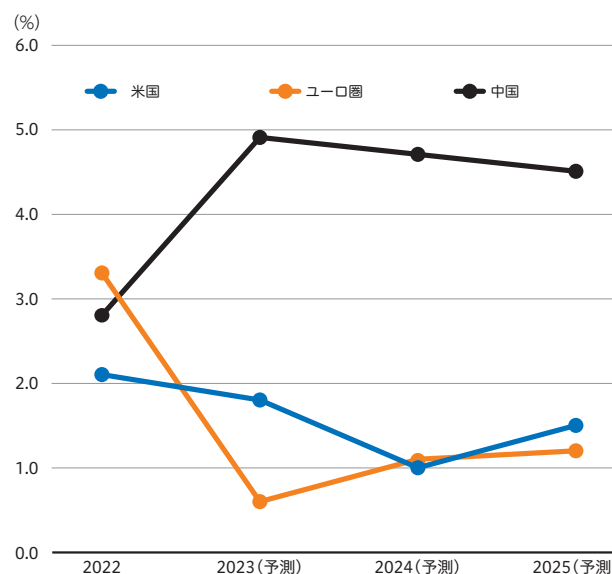
■ 中国

2023年前半の中国経済は、前年末にコロナ政策を大転換しゼロコロナからウィズコロナへと舵を切ったこともあり、1-3月期こそ高い成長率を記録した。しかし、その後は若年層を中心とする失業率の高さや、長引く不動産不況等を背景とする需要不足に直面しコロナ後の回復基調が腰折れの気配を見せている。

年後半は中国政府が景気に対する危機感を強め、景気対策に重い腰を上げ始めていることに加え、他国と異なりインフレよりもデフレが懸念される状況下、人民銀行も金融緩和姿勢を強めており、今年の経済成長目標である5%前後の成長は達成可能であろう。

2024年以降も同程度の経済成長が継続すると見込むものの、地政学上の問題や技術覇権を巡り西欧諸国との関係が一層悪化し、成長が下押される可能性がある点には注意を要する。

	2022	2023 (予測)	2024 (予測)	2025 (予測)
米 国	2.1	1.8	1.0	1.5
ユーロ圏	3.3	0.6	1.1	1.2
中 国	2.8	4.9	4.7	4.5



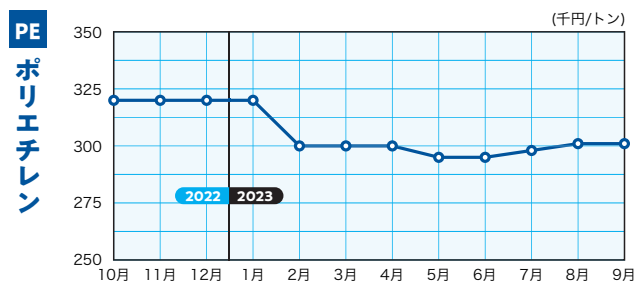
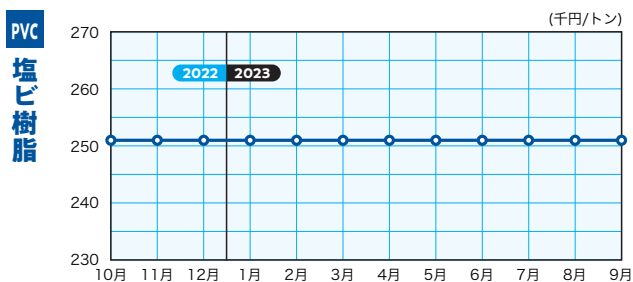
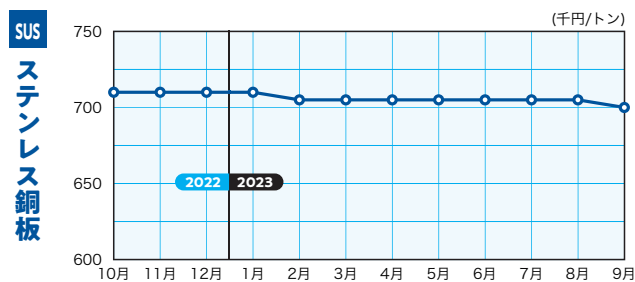
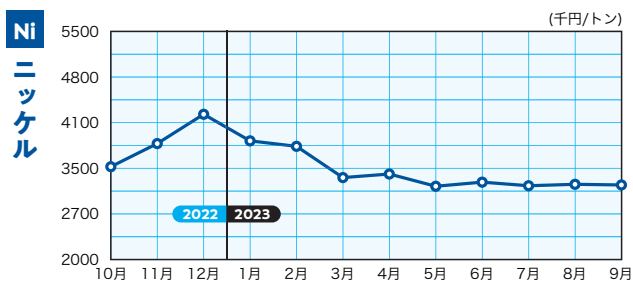
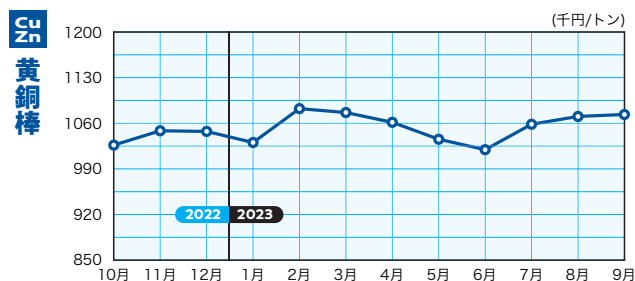
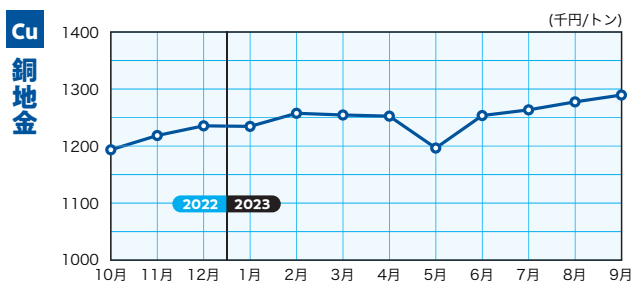
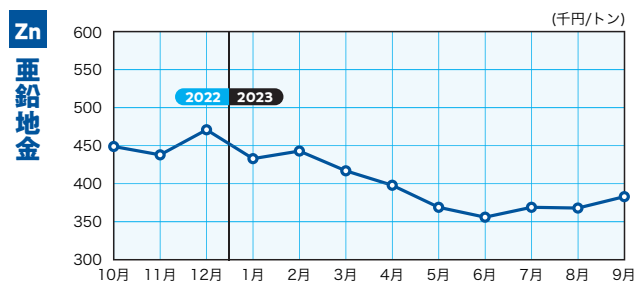
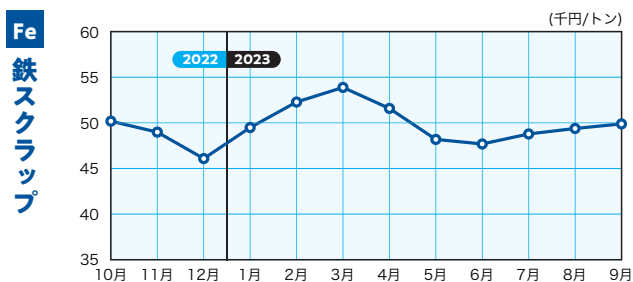
素材価格

1 市場概要

2023年9月

分類	素材	商品	状況
パイプ	鉄鉱石、原料炭	SGP・PV	10～12月積み鉄鉱石価格は、前期比4%安の103\$/t、7～9月原料炭価格は15%安の240\$/t。いずれも四半期連続の値下げも割高水準が続く。
	銅地金	空調用銅管	LME価格は8,300\$前後、国内価格は円安の為、128万円前後で推移。中国の景気回復の情報で価格の上下が続く。
	ニッケル	TPA・TPD	カーボンゼロ施策でのEV車への転換、バッテリーなどでの需要増加傾向だが、中国景気の低迷で、価格は軟調で20,000\$/tを割って推移。
継手	鉄スクラップ	鋳物類	荷余り感から軟調であった価格は、需給バランスが取れ始め安定。国内価格は急激な円安進行で円建て価格が上昇して50,000円/tを割って推移。
化成品	ナフサ	塩ビ管、継手	OPECプラス、サウジアラビアの自主追加減産+アメリカを始めとした世界経済の減速懸念が和らいだ事から上昇基調。ナフサ価格は原油に連動して上昇基調。

2 LME等の月平均値



セグメント別市場動向

今月のセグメント別市場動向についての見通しをまとめました。

セグメント	概況	前月	当月
パイプ	鉄鉱石、原料炭は高値ではあるが景気減退感から下降傾向も市況は横ばい。ステンレス管はニッケル価格下落で軟調傾向となる。		
継手	鋳物継手は鋼管出荷ベースと連動。メカニカル継手は、非住宅系の再開発案件が落ち着き端境期となる。		
バルブ	半導体関連の需要は一服感もデータセンター関係の引合いが増加。遅延設備案件も徐々に納入始まるが、出荷ピークは先の見通し。		
土木	予算脆弱で入札不調案件増加。150 A以下の小径管は樹脂化への加速進む。2024年4月、国交省での上下水一体化取組みとなる。		
化成品	金額ベースで増加も、出荷量は前年割れ。原油価格上昇でナフサ価格は高騰の見込み。原料メーカーは生産コスト増加により高値圏推移は続く見通し。		
トイレ	住宅取替は中高級グレード採用が増加。非住宅案件は水栓自動化、タッチレス採用増。8月に価格改定あり旧値保証分駆け込み需要増。		
バス	住宅取替需要は中高級志向が高まりグレードアップ。集合住宅案件も堅調に推移。ショールーム来館も徐々に回復。		
洗面	住宅の取替需要は高付加価値機能の中高級品グレードの受注が増加。更に8月新商品発売と値上げもあり受注分の納品増。		
キッチン	値上げ前の納入増加に伴い、リフォーム物件減少。アパートリノベ向けセクショナル、新築ハウスメーカー向けのオリジナルキッチンなどは好調。		
給湯	各メーカー共にガス・石油給湯器の出荷は標準納期も流通在庫過多にて大幅減少。エコキュートは補助金対象となる省エネ機種中心に需要増。		
空調	空調は猛暑効果と生産回復で一部を除き、業務用、住宅用ともに好調だった。電気代の高騰もあり省エネ機が大幅に伸長した。		
換気、送風	換気意識の高まりによる店舗改装で全熱交が、倉庫・作業場等で有圧扇も、堅調。住宅用換気扇、バス乾は竣工物件減でやや低調。		
ポンプ	昨年の4～7月は上海ロックダウンの影響による部品不足で台数減、今期は解消され、早期発注分の出荷が始まり、売りは好調、数量ベースでは103程度。		
エネルギー	電気料金の高騰に伴い再生可能エネルギー（産業用太陽光）の需要増加傾向。住宅用太陽光の見積増加傾向。（首都圏では、戸建住宅への太陽光設置義務化）創畜連携システム提案。		
電材	分電盤・一部高圧ケーブル以外は生産回復。首都圏内を中心にリニューアル・ソリューション案件受注増加。地方は一般電材が厳しい状況。		
家電	生活家電（TV・冷蔵庫・洗濯機・炊飯器・電子レンジ）の販売に一巡し、ルームエアコン以外は低調だった。高機能高価格帯は順調だった。		

主要メーカーアンケート 2023 市場見通しと企業方針

2023年の市場動向について下記の要領でご記入いただきました。

- 1.各社主力分野（商材）の市場見通し。
 - 2.営業方針・施策について。
 - 3.流通への要望・期待。
 - 4.各社の今年の重点商材。
- アンケート= 2023年8月下旬から9月上旬に実施。

主力分野の 市場見通し

(対前年同期比%)

住宅リモデル	101 %程度
新築住宅	97 %程度
パブリック	101 %程度

市場見通し 解説

- 住宅リモデルの需要は、堅調に伸長し対前年101%と予測。
- 新築住宅は、住宅着工が住宅価格の高騰・職人不足などの影響により前年より下がると予測し前年97%。
- パブリックの需要は、設備投資が前年からの増加すると予測するも職人不足の影響などにより前年101%と予測。

営業方針 施策

- 「あんしんリモデルの進化（住宅リモデル）」と「パブリックリモデルの加速」を柱として活動します。

流通への 要望

- 最新型や人気商品を手に触れて体験できるTOTOショールームを有効に活用いただき、ご商売にお役立て頂きますようお願い致します。

注力・重点商品

ネオレスト



- ネオレストLSは優雅なウェーブライン、高級感漂う金属調アクセントで空間に華やかさを添え、上質な意匠美を実現。

シンラ



- 上質さを感じる浴槽と楽湯で安らぎを堪能。
- たっぷりの水流と心地よい刺激で至福の時間を。

ザ・クラッソ



- 自然光や照明など、当たる光によって表情を変えるクリスタルカウンター。
- 使うたびに美しさを実感できる上質な仕上がりです。

主力分野の市場見通し (対前年同期比%)	新設持家・分譲 (棟数)	95 %程度
	リフォーム (金額)	102 %程度
	木造非住宅 (面積)	106 %程度

市場見通し解説 ● 新築市場は厳しい中でも脱炭素の実現向け、ZEH市場・木造非住宅市場は拡大し、またリフォーム市場では建築コスト高騰により中古市場が活性化され、リノベーションへの関心が高まると考えております。

営業方針施策 ● 「Life Style Fit」をキーワードに、お客様一人ひとりのニーズに合わせた暮らし (空間) 提案や省エネ・省施工等の社会課題解決に向けた新たな価値提案を推進してまいります。

流通への要望 ● 全国のショールームで皆様と一緒にお客様に「暮らしにフィットする商材」をご提案して参りますので、是非お近くのショールームをご活用ください。

注力・重点商品

パナソニックバスルーム BEVAS (ビバス)



- 家事ラク機能と暮らしに寄りそう上質空間。
- 「にあう・みがく・びがく」で多様な入浴スタイルに対応。



インテリア建材ベリティス



- 多様化するユーザーニーズに提案可能な業界最大級の827通りの内装ドア。

壁掛け熱交換気システム



- 天井裏などダクト施工が不要。
- インテリアに合わせて選べる2色展開。

主力分野の市場見通し (対前年同期比%)	システムキッチン	102 %程度
	システムバス	103 %程度
	洗面化粧台	101 %程度

市場見通し解説 ● 新築は建設コストの高止まり、金利上昇の可能性から持家を中心に減少傾向が続き、着工数減少が懸念される。リフォームはコロナ5類移行後の外向き消費拡大と団塊ジュニア世代の需要増など⊕⊖が混在するが、年間規模は7兆円前後思われる。

営業方針施策 ● 新たなホーロー技術で創り上げたホーローシステムキッチン「レミュー」を新発売。認知度アップのプロモーション強化と魅力溢れるショールームづくり、またWEB・デジタルコンテンツを充実させ需要獲得を図って参ります

流通への要望 ● 新築市場を中心に厳しい市場環境が続く中、みらい会の皆様と「地域密着・お客様密着」を合言葉に協業を更に深化し、業界最多のショールームと独自のホーロー商品を武器にリフォーム需要の掘り起こしをお手伝いさせていただきます。

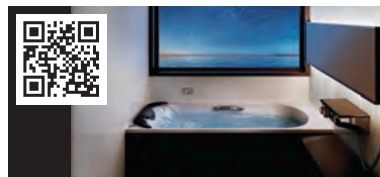
注力・重点商品

ホーローシステムキッチン LEMURE (レミュー)



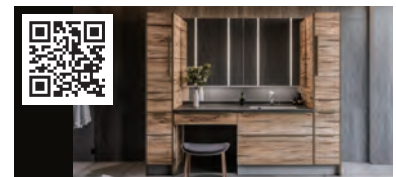
- フラグシップがフルモデルチェンジデビュー!
- 独自のホーロー技術で自然の繊細な質感を表現。
- 使いやすさでキッチンワークをフルサポート。

システムバス GRANSPA (グランSPA)



- 素材力でキレイがずっと続く「おうちSPA」。
- 快適と安心が共存する「耐震システムバス」。
- マグネット収納で使いやすさも自由自在。

ホーロー洗面化粧台 ELEENA (エリーナ)



- フラグシップがフルモデルチェンジデビュー!
- ゆったり空間で自分磨きの時間をサポート。
- ライフスタイルに合わせた豊富なラインナップ。

主力分野の 市場見通し (対前年同期比%)	システムキッチン	95 %程度
	システムバス	95 %程度
	洗面化粧台	95 %程度

市場見直し解説 ● エネルギー資源の高騰や物価高の影響もあり、リフォーム改修現場が鈍化傾向にある。4月以降のショールーム来場も4月～8月累計で前年伸長率が全社96%となっており、特に地方のエリア程、低い状況がみられます。

市場見直し解説 ● 『量から質の時代へ』 移り変わろうとしています。
● アップセル（ランクアップ提案）、クロスセル（オプション提案）から単価アップ販売を試みます。高級商材、イタリアのバルクッチーナJPやCENTORO販売を強化して参ります。

流通への要望 ● 秋需獲得へエリアごとのキャンペーンやリフォームフェア等々が一斉スタートしております。特にショールーム活用の日程に関しましては、週末土日まだ多少余裕がありますので、お早めに営業担当者へご相談願います。

注力・重点商品

CENTORO (セントロ)



● イタリアのデザインと国内最高品質のハイエンドキッチン! Newクラフトマンシップデザインを追求。

STEDIA (ステディア)



● プロがおすすめしたい住宅設備キッチン部門2年連続総合1位 (リフォーム産業新聞調べ)

AQ (アクリアバス)



● アクリル樹脂使用率が高く、安心して品質が保たれる。暖かく、安心、そしてキレイなバスルーム。

主力分野の 市場見通し (対前年同期比%)	住設商品	102 %程度
	金属商品	105 %程度

市場見直し解説 ● 23年度は緩やかな持ち直しを見込み、住宅着工数は約86万戸と予測しています。持家は26万戸と減少、貸家は35万戸と増加、分譲住宅は戸建は横ばい予測ですが、都市部マンションの回復が見込まれ、25万戸程度と予測しています。

営業方針施策 ● リフォーム市場の更なる需要創造と獲得。
● エンドユーザー接点強化による中高級商材の拡販。

流通への要望 ● お近くのショールームにて各種製品を実感・体感してください。オンラインショールームのご紹介・ご活用もお願い致します。

注力・重点商品

システムキッチン リシェルS I



● 新しい生活空間を創造し、より快適な暮らしを実現するキッチン。

システムキッチン ノクト



● 料理は勿論、趣味も団らんの時も暮らしの全ての時を魅せてくれるキッチン。

システムキッチン ウエルライフ



● 座ったまま、無理なく・楽しく・心地よく。バリアフリーキッチン。

主力分野の市場見通し (対前年同期比%)	ガス石油温水機器	90 %程度
	買替ビルトインコンロ	100 %程度
市場見通し解説	● 行動制限が大幅に緩和されたことで経済活動は活性化していく一方で物価高影響により個人消費の回復は限定的と考えます。給湯機器は供給不安の解消に伴い、需要についても平準化されると想定しております。	
営業方針施策	● お客さまが抱える生活の中での悩みや社会の課題を解決する社会価値を伴った付加価値商品の販売を強化し、多様化するお客さまニーズへの対応をすすめてまいります。	
流通への要望	● 省エネ機器の普及でのCO ₂ 排出量削減による「環境貢献」や、「生活の悩みや社会の課題」を解決する社会に役立つ商品の提供を進めさせていただきますので、普及へのご協力、よろしくお願いたします。	

注力・重点商品

**エコジョーズGT-C 72 シリーズ
プレミアムタイプ**



- 2つの除菌ユニットで、浴槽水とふる配管を除菌。深部体温の変化を推測する新技術で、入浴習慣をサポート。

**ガスビルトインコンロ
Orche (オルシェ) シリーズ**



- 機能性とお手入れ性を進化させたデザイン。料理中の鍋底温度を数値で表示する温度クック機能で、調理をサポート。

ハイブリッド給湯システム



- 電気の経済性とガスのパワーで、省エネ性と快適性を実現。細かなニーズに応える、ラインナップが充実。

主力分野の市場見通し (対前年同期比%)	給湯	95 %程度
	厨房	100 %程度
市場見通しと解説	● 給湯器は市場在庫過多状況が徐々に解消され、補助金対象の高効率給湯機器の需要が回復するものと想定しております。厨房機器はリアルイベントの再開に伴い、高付加価値商品が伸長すると予測しております。	
営業方針、施策	● 「生活の質の向上」に貢献する商品を提案して参ります。 ● お客様に対して、「楽しく・心地よく」、「お困りごとを解決」、「良いデザイン」といった弊社独自の商品価値を提供し、需要獲得を図って参ります。	
流通への要望	● 地球環境問題に対応した商品、生活の質の向上につながる商品を積極的にご提案させていただきますので、ご拡販の程宜しくお願申し上げます。	

注力・重点商品

衣類乾燥機「乾太くん」



- パワフルな温風で4人分6kgが60分で乾燥。洗濯物がふんわりと仕上がります。

エコワン「X5・プラグインモデル」



- コンパクトサイズでトップクラスの省エネ性と低ランニングコストを実現。施工も簡単に。

ウルトラファインバブル給湯器



- 洗浄効果の高いお湯が浴室やキッチンなどの気になる水まわりの汚れ、水垢を付きにくくし、日々の掃除をより楽にしてくれます。

主力分野の
市場見通し

(対前年同期比%)

エコキュート	103 %程度
ヒートポンプ式暖房システム	105 %程度
石油給湯機器	95 %程度

市場見通し
解説

- エコキュートの買い替え需要は潜在しており、各種補助金が後押しして下期の回復が見込まれます。省エネ性能アップと施工性の向上による施工者の負担を減らします。

営業方針
施策

- エコキュートを中心に住宅の快適提案やレジリエンス提案を行いながら、本格化する買い替え市場へ向けた商品提案と安定供給に力を入れて参ります。

流通への
要望

- 会員各社様がよりお客様へご提案し易い商品開発とご提案を行って参りますので、ご拡販のご協力をお願い申し上げます。

注力・重点商品

エコキュート



- 太陽光発電の余剰電力を有効活用する機能や災害時等に生活用水の確保を行うレジリエンス機能を強化しました。

石油給湯器



- ポータブル電源対応、深夜の入浴も低騒音のおさめ運転、夏モードで不要な運転抑止。

エアコンSシリーズ



- 熱交換器の汚れを洗い流す等の清潔機能の他に、人感センサーを使った省エネ機能を搭載しています。

主力分野の
市場見通し

(対前年同期比%)

パブリック電気温水器	102 %程度
------------	---------

市場見通し
解説

- 地域格差は継続するものの、高齢者福祉施設・オフィスの更新需要は堅調に推移するものと考え。苦戦が続いた店舗関連も徐々に回復傾向に向かうと考える。

営業方針
施策

- 専門メーカーとしての細やかな営業サポート。
- 見積・引き合い物件の情報共有化と徹底した営業活動。

流通への
要望

- 新製品や電気温水器の基礎など、出前勉強会を実施させていただきます。お気軽にご連絡をください。

注力・重点商品

電気瞬間湯沸器
E1WXシリーズ



- 電気瞬間式の進化形。1℃刻みの温度制御や湯温優先モードなど、現場の様々な要望に応えます。

卓上型電気湯沸器
E HWD-14



- 飲用に最適な90℃以上のお湯がいつでも使用可能。継続出湯と定量出湯の2タイプをご用意。

洗い物用壁掛型電気温水器
EWM-14N



- 簡単施工・簡単操作の壁掛型電気温水器。家庭用コンセント対応で、場所を選ばず設置可能。

主力分野の市場見通し (対前年同期比%)	業務用エアコン	103 %程度
	家庭用エアコン	101 %程度
	家庭用エコキュート	100 %程度

市場見通し解説 ● 業務用空調市場及び家庭用空調市場は首都圏の再開発案件や電気代高騰を受けての付加価値省エネ機の需要が続くと想定。給湯器市場はカーボンニュートラルを背景に脱炭素の流れは継続していくと予測。

営業方針施策 ● 電気代高騰に対する省エネ機提案、ユーザーと繋がり付加価値を提供する循環型ソリューションビジネス、建設現場の働き方改革や人手不足に対する省工事ニーズを背景とした空調周辺部材の提案をして参ります。

流通への要望 ● 省エネ性が高く定額利用サービス（ZEAS Connect）の利用が可能な業務用エアコン「FIVE STAR ZEAS」、省エネ性が高い上に快適機能も満載の家庭用エアコン「うるさらX」のご拡販をお願いいたします。

注力・重点商品

業務用エアコン FIVE STAR ZEAS



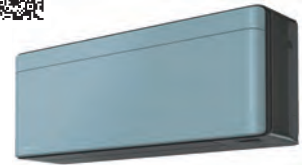
● 今秋発売の新モデルでは小容量クラスで業界トップクラスのA P F値を達成。8 - 10馬力も新たにラインアップ。

家庭用エアコン うるさらX



● 高い省エネ性、加湿、除湿、換気などの快適機能が満載。秋発売の新モデルはさらに省エネ性能が向上。（※動画は現行モデル）

家庭用エアコン r i s o r a



● 自由に選択できる本体カラーとパネルカラーでインテリアに調和。本体は業界最薄185mm。

主力分野の市場見通し (対前年同期比%)	換気扇	97 %程度
	ルームエアコン	100 %程度
	パッケージエアコン	98 %程度

市場見通し解説 ● インバウンド需要の回復や省エネニーズの拡大というプラス要因はあるも、建築資材の価格高騰、工期の長期化等の影響により住宅着工・竣工の前年割れが懸念される。

営業方針施策 ● 省エネニーズが高まる中、高効率商品の訴求を軸に、お客様にご満足いただけるトータル提案を強化して参ります。

流通への要望 ● 研修会・工場視察会のご企画や、お取扱い商品拡大に向けた有力客先様へのP R巡回にご協力をお願いいたします。

注力・重点商品

パッケージエアコン Mr.SLIM ZR



● 高A P Fに加え、ムーヴアイ360による更なる省エネ効果を実現。



ルームエアコン 霧ヶ峰Z X Vシリーズ



● emocotechにより、人のキモチを測定。またロスナイ連動により省エネ性と快適性をご提案。



ダクト用換気扇 <CO₂センサー付タイプ>



● 室内のCO₂濃度を測定し、換気風量を自動で制御。



主力分野の 市場見通し (対前年同期比%)	パッケージエアコン	100 %程度
	ルームエアコン	98 %程度

市場見直し解説 ● 業務用空調はカーボンニュートラルに向け、補助金を活用した企業のグリーン化が加速しZEBの拡大。フロン排出抑制法の改正でIoTによる簡易点検が新たな空調ビジネスとして浸透し始める。

営業方針施策 ● カーボンニュートラル市場に向け、高効率なプロダクトとIoT（日立のexiida）による冷媒漏洩検知をセットでソリューション提案を強化。

流通への要望 ● exiidaには冷媒漏洩検知を始め、様々なメニューがございますのでご興味のある施主様をお客様にお持ちの会員様がいらっしゃればご紹介下さい。PRにお伺い致します。

注力・重点商品

店舗・オフィス用エアコン
省エネの達人プレミアム
省エネの達人



●ビル用マルチエアコンに搭載していたスムーズドライブ制御の技術を店舗・オフィス用にも応用し新登場。

日立ルームエアコン
白くまくんXJシリーズ



●浮遊カビを捕まえ、付着カビを抑制する[Premiumプラズマ空清]。室内機熱交換器自動お掃除[凍結洗浄]。ファン自動お掃除[ファンロボ]搭載。

寒さ知らず（冷暖同時型）
TNXシリーズ



●新たな除霜機能を搭載し、224～1000型までラインアップした寒冷地向け冷暖同時型が新登場。

主力分野の 市場見通し (対前年同期比%)	パッケージエアコン（PAC）	100 %程度
	熱源	115 %程度
	ルームエアコン（RAC）	90 %程度

市場見直し解説 ● 上期PAC市場は前年並みに留まったが、人流拡大やインバウンドを見据えたサービス分野での需要拡大に期待。熱源市場は、製造業を中心に幅広い分野での設備投資増を見込むも、人件費の上昇や物価高による規模縮小や計画の先送りが懸念される。一方、RAC市場は夏場猛暑の後押しにより一時的に需要増となるも、コロナ禍における巣籠り需要での買い替えが進んだ影響で、通年では大幅な前年割れとなる見通し。

営業方針施策 ● エネルギーコスト削減、カーボンニュートラルに貢献する省エネ機器提案、空調+換気セットによる最適空間のご提案。

流通への要望 ● 大規模～小規模の個別空調のご要望があれば、当社スーパーマルチuシリーズ、スーパーマルチminiシリーズにて最適なお提案しますので、是非お声がけください。

注力・重点商品

ビル用マルチ空調
スーパーマルチuシリーズ



●オートチャージ機能搭載で更新工事の作業時間を削減。当社過年度機種との混在運転も可能で、予算に合わせた更新をご提案。

ビル用マルチ空調スーパーマルチ
miniシリーズ



●室外機狭小スペースでの個別空調にお勧め。4月に12馬力も新登場し、ラインアップを強化。賢く利用して電気代を削減！

業務用全熱交換ユニット
ヒートクルーア



●DCモーター搭載で従来機種に比べて21%省エネ！空気環境をリモコンからモニタリング可能で、CO2・PM2.5センサーも組込可能。

主力分野の市場見通し (対前年同期比%)	新築住宅着工戸数	99.1 %程度
	内マンション	96.3 %程度
	民間非住宅着工	102.8 %程度
市場見通し解説	● 住宅着工戸数は、建設コスト高止まりや住宅ローン金利上昇に対する懸念等のマイナス要因により、前年度と同水準であるがやや減少すると予想。一方事務所・倉庫・流通施設は前年度を上回る水準で推移すると予測。	
営業方針施策	● 高付加価値製品の市場投入。アフター市場向けサービス体制と業務の効率化による顧客対応を強化。	
流通への要望	● 取替や改修の現地調査のご依頼を頂きましたら迅速に対応致しますので、お声がけをお願いします。	

注力・重点商品

フレッシャー 3100 NEO
BN-MK型



- 業界初 IVMモータ搭載給水ユニット。
- 主な特長
 - ・従来品「BN-ME型」と面間が同一
 - ・設置自由度アップ

フレッシャー 3100 NEO
BN-MG型



- 業界初「IVMモータ搭載給水ユニット」。
- 主な特長・ダウンサイジング
 - ・ライトウエイト
 - ・設置自由度アップ



直結給水ブースタポンプ



- NFC通信機能搭載でスマホで運転状態が簡単に確認できます。

主力分野の市場見通し (対前年同期比%)	新設住宅着工戸数	110 %程度
	内マンション	110 %程度
	民間非住宅着工	110 %程度

市場見通し解説 ● 納期遅延は解消傾向にあります。新築現場増加傾向ですが、アフター市場（改修・取替）も増える見通しです。

営業方針施策 ● アフター市場の開拓。MC 5 Sを中心にリニューアル・アフター市場開拓に取り組みます。

注力・重点商品

増圧給水ポンプ MC 5 S型



- 省電力・静音・軽量・低振動。

主力分野の 市場見通し (対前年同期比%)	建築設備・管材	95 %程度
	工場設備・汚水処理設備	95 %程度
	土木・建設工事	100 %程度

市場見通し解説 ● 当社グループは社会インフラに直結した製品を提供していること、また異常気象等に伴う災害から国民生活を守るための製品を提供していることなどもあり、需要減少の影響は現状では軽微であると考えております。

営業方針施策 ● 当社グループは社会インフラに直結した製品の提供及び異常気象等に伴う災害から国民生活を守るための製品、また二酸化炭素排出量削減や省エネ、維持管理の省人化などSDGsに貢献する製品の販売に注力致します。

流通への要望 ● 原材料価格やエネルギー価格の高騰、人手不足などの要因により、予期しない状況が発生することもございますので、受注見込み案件につきましては必ず事前にご確認頂けますようお願い申し上げます。

注力・重点商品

ノンクログ型 スマッシュポンプ



- 高効率と異物通過性の両立を実現させたポンプ。
- 流れ込む異物に対して、新たな技術スマッシュ機構を設けることにより高い通過性を実現。
- お客様へ二酸化炭素排出量削減／省エネ（高効率）／維持管理の省人化などのご提案に使用できます。

電極式自動型 水中ポンプ



- 液面検出電極で自動運転を実現。
- ポンプと電源をつなぐだけの簡単自動運転。
- 水位上昇時のみ運転、節電効果あり。

汚泥脱水機



- コンパクト設計、低質量化。
- 含油汚泥の処理が可能。
- 目詰まりしにくい構造で洗浄水量も従来型費60%削減。
- 連続自動運転が可能。省人化による負担低減効果。

主力分野の 市場見通し (対前年同期比%)	ガス管	90 %程度
	ライニング鋼管	90 %程度

市場見通し解説 ● 今年度の下期は、上期に続き労働力不足等により、統計には表れない案件ズレ、工事遅れ、規模縮小の影響が中小案件中心に発現しており、市場の見通しは不透明且つ盛り上がりを欠く様相。

営業方針施策 ● 引き続き需要動向見据えた、適切な需給管理の実施。

営業方針施策 ● 2024年物流問題への取組みについて、ご協力よろしくお願い致します（納入依頼の前倒し・出荷ロットの拡大・納入時間の柔軟化等）。

注力・重点商品

配管用炭素鋼鋼管（黒管・白管）



- 他社に比して、フレア加工・転造ネジ加工等に適した特徴を持った鋼管。

水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管



- 高耐久性を考慮したライニング鋼管。

主力分野の 市場見通し (対前年同期比%)

市場見通し 解説	● 2023年下期は前年同期比101%の需要を見込んでおり、本格的な需要回復は下期後半から考えております。			
営業方針 施策	● ランドマークとなる大型物件等、重要案件の受注を確実にする為、地道な指定活動を行って参ります。			
流通への 要望	● 社名変更は致しましたが、伝統のトレードマーク「瓢箪印」のもと、安全・安心を追求した製品開発により、皆様の付加価値向上を目指して参りますので、引き続きご愛顧賜ります様お願い申し上げます。			

注力・重点商品

ステンレス配管用
メカニカル継手 Zlok・Zlok II



● 長年の実績があるZlokにナット緩み漏れ防止機能を有するZlok IIをラインナップ

給水・給湯・冷温水配管用
フレキ管・継手ソフレックスAQ



● 可とう性、自立性を有した配管施工が容易なステンレス製フレキ管と専用継手。

ステンレス製
セグメントボールバルブ



● 止水性能に優れた淡水、雨水、汚水用セグメントボールバルブ。

主力分野の 市場見通し (対前年同期比%)

市場見通し 解説	● 建築分野は建築金額としては横ばいと予測されるが販売単価が上昇しているしているため、数量としては減少。都内や主要都市の再開発は下期より回復傾向が見られると考えられるが資材高騰から全体需要は伸び悩むものと推測される。産業機械は中国経済の影響が大きいため、今後の影響が懸念される。		
営業方針 施策	● 需要見込みのある半導体やデジタル化物件への取り込みのため、情報交換の活発化と在庫拡充、先行生産等を実施します。全国的に建築現場における配管のプレハブ化は増加しており、簡易施工製品群の販促に注力します。		
流通への 要望	● 全国の半導体工場建築は需要が継続的に発生しています。当社では一貫生産の強みを最大限発揮し、納入したいときに、納入したい分だけ、安定した価格で納入いたします。材質は”鉄、ステンレス、銅合金”、継手構造は”ねじ、メカニカル、ハウジング”と幅広くラインナップしています。ぜひ、お声がけをお願いいたします。		

注力・重点商品

T Lジョイント



● 350 Lのレンチで13~50Suまで施工可能なトルクレスなステンレス拡管継手。

1 押継手



● ステンレスだけでなく銅管も接合可能なマルチなワンタッチ継手。

WF II (ダブルフランジ II)



● 2023年10月発売予定。進化した後付けフランジ、更に軽量、コストも削減。スリーブ口径を小さくできる。

主力分野の
市場見通し

(対前年同期比%)

新設住宅	95 %程度
民間非住宅	120 %程度
非建築分野	110 %程度

市場見直し
解説

- 首都圏の再開発案件が依然活況です。首都圏を軸に、他地区の建築案件受注を進めていきます。

営業方針
施策

- 冷媒向け製品“冷媒ダブルプレス”を発売しました。これまでは衛生分野を主体とした営業展開を行ってきましたが、今後は冷媒分野にも注力していきます。

流通への
要望

- 冷媒ダブルプレスのPRを強化していきます。施工業者様のご紹介、同行営業の実施、製品勉強会の開催など、情報のご提供をお願いいたします。

注力・重点商品

冷媒ダブルプレス



- 施工に火器を使用しない火なし継手（プレス式）です。

BKジョイントII



- 最高使用温度を拡大しました。
(13.20Su：100℃以下、
(25～60Su：130℃以下)

EGジョイント



- 薄肉管（JIS G 3448）だけでなく、厚肉管（JIS G 3459）にも対応します。

主力分野の
市場見通し

(対前年同期比%)

給水・給湯用	85 %程度
空調・冷媒用	115 %程度
医療用	75 %程度

市場見直し
解説

- 2023年下期 病院物件は関東地区は少なく西日本は活発に動く見込み。空調冷媒案件は西日本を中心に動き出す予定だが、上期の落ち込みをカバーするまでには至らず。

営業方針
施策

- 空調用火無し継手「RGプレス」の拡販を進めると共に冷媒被覆銅管とのセットでの物件受注活動に注力する。

流通への
要望

- 火無し継手「RGプレス」のPR会・勉強会・工事店様向け施工講習会を実施させて頂きますのでご不明な点等御座いましたらお問合せ下さい。

注力・重点商品

RGプレス
(空調冷媒用火無し継手)



- 施工時間を短縮可能。
- 従来の継手の1/3に軽量化。
- 専用工具で簡単・確実施工。

TFテクタッチ
(給水・給湯用)



- “カチッ”と当たるまでさしこむだけで施工可能。
- 施工時間短縮可能。
- 火を使えない場所で使用可能。

ECO-PN
(エコキュート用被覆銅管)



- 耐熱性(120℃)に優れます。
- 保温性に優れます。
- 施工性に優れます。

主力分野の市場見通し (対前年同期比%)	住宅市場	88 %程度
	機械装置	89 %程度
	石油/化学	102 %程度
市場見通し解説	● 個人消費は回復基調を維持し、設備投資は緩やかな増加が見込まれるものの、燃料費高騰に伴う物価上昇や世界情勢不安による景気下振れリスクを加味した設備投資へのブレーキがかかると思われる。	
営業方針施策	● 「コア市場」販売強化、配管仕様材料の変化に対応した製品開発。「成長市場」新製品の開発・市場導入によりシェアを確保。お客様のニーズに応えるべく製品開発、商品PRに力を入れてまいります。	
流通への要望	● バルブのことは、キットへお任せください。 ● 新商品や、既存品の改良など、ご意見・ご要望がございましたら、何でもお聞かせください。	

注力・重点商品

エスロハイパーAW用 鉛フリー
キーパロイ製 ゲートバルブ



- エスロハイパーAWにバルソケ無しでEF（融着）接合するゲートバルブです。給水縦管、機械室、受水槽廻りに最適です。

ステンレス鋼製PFAライニング
ウエア型ダイヤフラムバルブ



- 接液部がフッ素樹脂のみで構成されており、耐化学薬品性・耐腐食性に優れています。一般化学から機能性化学まで対応可能です。

耐塩素用アルミ製
パタフライバルブ



- 給水用に最適な耐塩素EPDMゴムシートを新規開発し、アルミ製パタフライバルブに採用しました。

主力分野の市場見通し (対前年同期比%)	建築設備関連	102 %程度
	工場設備関連	100 %程度
市場見通し解説	● アフターコロナを見据えた企業の設備投資意欲は底堅く、大都市圏再開案件を始め半導体関連産業などの工場新設需要、インバウンド需要に向けたホテル建設計画により微増と予想。半面、消費者マインドの低下による景気下振れ要因が懸念。	
営業方針施策	● 顧客ニーズに応えることができる新しい分野の商品開発に注力してまいります。	
流通への要望	● 弊社イノベーションセンターではバルブへ接する貴重な体験をご用意しております。ぜひともご来場の程、お待ちしております。	

注力・重点商品

ダイヤフラム式蒸気用減圧弁



- 従来品に比べオフセットが小さい。
- 大流量の用途でも安定した圧力制御を実現。
- 世界に誇る高品質の純日本製。

ストレート型ストレーナ



- 適用圧力2.0MPa ナイロンコーティングの日水協品。
- 独自ストッパー構造によりメンテナンス性がさらに向上。

ミキシングバルブ



- 水と蒸気の直接混合形。
- 先止め方式採用。
- 本体内部には常に水が流れ込む安全設計。

主力分野の 市場見通し (対前年同期比%)	給水装置製品	100 %程度
	給水設備製品	100 %程度

市場見直し解説 ● 2023年下期も配水管布設替工事は例年並み程度の発注予定見通しです。また耐震性能に優れた製品が今後も需要が見込まれます。

営業方針施策 ● 冷媒銅管用ワンタッチ継手等、差別化商品による新領域での顧客開拓と既存顧客深耕による市場競争力の強化。

流通への要望 ● 同行等、協業で新規商材の拡販をお願い致します。

注力・重点商品

エフ - 1



- 冷媒銅管用火無し工法継手ワンタッチ接合で施工時間大幅短縮。38.1までのサイズバリエーションUP。

ノンフレジョイント

**フレア加工無しで
機器に直接接続!**



- エアコン機器にフレア加工せずにねじ込み、冷媒銅管にワンタッチ接合が可能。冷媒漏れリスク低減で工事品質の安定化。

クワトロ - II



- 複式メータボックスがバージョンUP。
- 2次側に可とう継手が付き、H Iソケット接続不要となり、更なる施工性向上。

主力分野の 市場見通し (対前年同期比%)	塩ビ汎用品	102 %程度
	設備配管 (集合住宅)	102 %程度
	設備配管 (非住宅)	103 %程度

市場見直し解説 ● 【住宅着工】戸建、持家は建設コスト高や、住宅ローン金利上昇への懸念もあり、減少傾向継続。賃貸中心に集合は回復継続と予測。【非住宅】都市部での再開発や倉庫、半導体関連を中心とした工場の需要が好調に推移すると予測。

営業方針施策 ● 社会環境の変化を的確に捉え、ビジネスモデルの変革を進めて市場環境に左右されにくい体質転換を行う。
①選択と集中による重点拡大製品の拡大 ②DXの戦力化 ③金属代替の加速

流通への要望 ● 工事店様からの製品ニーズの共有。
● 当社オリジナル製品の活用により、塩ビ汎用品を含めた総合的な製品取扱い。
● DX推進とWEBとリアル融合による製品提案力強化。

注力・重点商品

コンパクト雨水マス



- コンパクト形状かつ1品種で様々な排水管口径・流入出角度の配管に対応できる施工自在性を併せ持った画期的な製品です。

**耐火プラAD継手
HG / SG・プラ脚部継手**



- 耐火プラAD継手の排水・遮音性能と施工性が向上し、樹脂脚部継手との組合せにより、樹脂配管が実現可能となりました。

エスロハイパーシリーズ



- 高圧消火AWが、総務省消防庁の通知により「連結送水管管理設部」での採用が可能となりました。

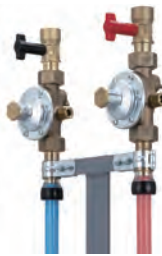
主力分野の市場見通し (対前年同期比%)	公共事業（給水装置製品）	102 %程度
	民間物件（住宅設備製品）	103 %程度

市場見通し解説 ● 世界情勢が不安定であり、物価も引き続き上がる事が予想され、消費マインドが大きく改善するとは思えません。よって、住宅着工は昨年並みでの推移になると予想されます。公共投資は国土強靱化の推進により高水準で推移する。

営業方針施策 ● 給水装置分野においては全国事業者への給水管路耐震化に向けた製品の提案営業を継続する。住宅設備分野においてはお客様のニーズに沿った製品開発を進める。

注力・重点商品

ボールバルブ付減圧弁
(呼び径 20.25)



- 配管後の減圧弁交換が容易で減圧弁本体から水圧テストが可能。
- ホテル配管に最適。

埋設用メーターセット
(呼び径 40.50)



- メーター周り材料とボックスが一体の耐震型。
- 作業性向上（運搬・設置、メーター交換がスムーズ）。

ファンコイル冷温水配管用酸素透過バリア型O₂カットパイプ



- 密閉回路での冷温水配管対応品。
- パイプ・継手のプレハブ化も可能。

主力分野の市場見通し (対前年同期比%)	新設住宅着工戸数	98 %程度
	内、分譲マンション	102 %程度
	内、賃貸住宅	104 %程度

市場見通し解説 ● 新設住宅着工については、賃貸住宅や分譲マンションで需要回復が見込めるものの持家が資材価格高騰等の影響で減少し、全体としては前年から若干減少と予測します。

営業方針施策 ● お客様への価値提案を第一に当社独自のプレミアム商品群やサービスの提供を一層強化。特に、伸長する改修市場向けソリューション提案に注力致します。

流通への要望 ● みらい会会員の皆様方にご満足頂けるような商品やサービスの提供を第一に今後も取り組んで参りますので引き続きご支援の程宜しくお願い申し上げます。

注力・重点商品

プッシュマスター らく楽R

プッシュマスター らく楽R



- 改修工事をもっと便利に！流量だけでなく、安心・施工性にこだわった新シリーズ。
- ※ 当面エリア限定販売です。

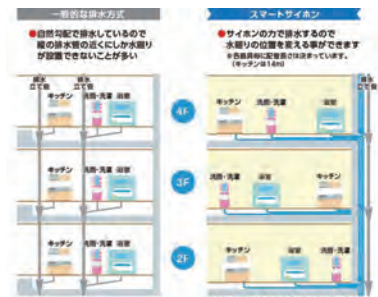
エコるーぶ

3m・5mパック



- 優れた耐熱性と柔軟性を持ったエコキュートヒートポンプ専用配管で10年保証を実現。

スマートサイホン



- サイホン力を利用した、建物だけでなく人々の生活空間も変えるイノベーション技術。

主力分野の市場見通し (対前年同期比%)	上水道設備	96 %程度
	下水道設備	96 %程度
	ビル設備	105 %程度
市場見通し解説	● 住宅価格の高騰や物価の上昇に加え、将来的な金融政策の変更に伴う住宅ローン金利の上昇懸念などから、弊社の業績に影響が大きい戸建て住宅市場における新設住宅着工戸数は前年比6～8%程度の減少を見込んでおります。	
営業方針施策	● 豪雨時の排水逆流対策と災害時の水確保のための「災害分野製品」、ビニコアを主とした「ビル設備分野製品」、ME L Sシリーズの「エクステリア分野製品」の重点販売と市場拡大に努めてまいります。	
流通への要望	● 各地区共同での、新製品及び重点販売製品の工事店様へのP Rと、在庫・取扱いの強化をお願い申し上げます。	

注力・重点商品

後付け逆流対策弁



- 豪雨時における下水道本管からの排水やエアの逆流を軽減する。

後付け圧力開放蓋



- 既設マス蓋を後付けで圧力開放蓋に変更可能。下水道本管からの逆流エア圧を開放。

エクステリアブランド ME L S

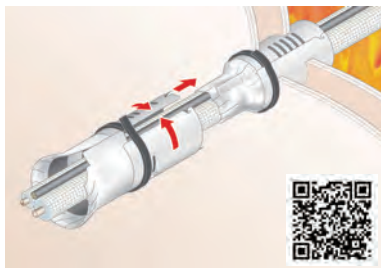


- デザイン性とコストパフォーマンスを兼ね備えた、色とりどりの品揃え。

主力分野の市場見通し (対前年同期比%)	空調部材	100 %程度
	衛生部材	100 %程度
市場見通し解説	● 物件としては上期から引き続き厳しい状況が継続すると予想。第四四半期以降から来期へかけて受注物件が少しずつ回復する見込み。単価上昇影響含め、下期相対的には微減もしくは前期並み程度と予測。	
営業方針施策	● 空調市場では新製品拡販と先物件の受注活動、管材市場ではブランド認知の向上と改修物件への製品提案を強化。現場の困り事、ニーズを抽出し新製品開発による製品ラインナップの充実を図っていく。	
流通への要望	● 空調分野に限らず、管材分野の製品を拡大していきます、様々なご意見をお気軽にお寄せ頂きますようお願い致します。	

注力・重点商品

スリーブワン



- ビスレス、パテレス、スリーブレスの冷媒管用耐火処理材。配管に取り付けて挿入するだけ！

ろう付けレスパイプロック



- 火気厳禁現場にも最適！ろう付け不要で縦引配管固定が可能！施工時間40%削減！

スリムダクトPD



- 分岐配管に対応した追加パーツにより給水管の更新・増設時など、露出配管の化粧カバーとして最適！

主力分野の 市場見通し (対前年同期比%)	新築住宅	99 %程度
	リフォーム市場	102 %程度

市場見通し解説 ● 物価上昇や個人消費減少の影響は新築を中心に住宅市場にも影響が出てくると懸念しております。リフォーム市場においては底堅い動きをすると見通しております。

営業方針施策 ● 2019年度省エネ大賞受賞商品「Revos」をはじめ、新築からリフォームまで「総合提案力のオンダ」で皆様と共に現場のお困りごとの解決につとめます。

流通への要望 ● 商品説明会のご要望ございましたら、お気軽にお声がけください！

注力・重点商品

**ダブルロックジョイント
Revos**



● 外径シール構造で流路が広く、リフォーム配管に最適な継手です。



**コルゲートイージーカポリ
ホワイト**



● 大好評のコルゲートイージーカポリに待望のホワイトが新登場！



特厚カポリ



● ぶ厚くなってエコキュートに対応したオンダだけの新発想樹脂管！ワンタッチ継手で施工も簡単！



主力分野の 市場見通し (対前年同期比%)	音ナイン	103 %程度
	音シラズ	103 %程度
	耐火音ナイン	105 %程度

市場見通し解説 ● 戸建住宅の着工数が微減で厳しく、数量ベースでは前年から微減だが、価格改定もあり金額ベースでは微増の見込み。

営業方針施策 ● 防音・制振・吸音、プラス環境をキーワードに新商品の開発。

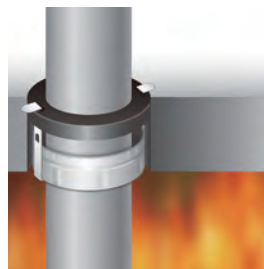
注力・重点商品

音ナイン



● 優れた防音性能。
● 防音材一体で楽々施工。
● フィルムコーティングで性能を維持。

シャッターマン



● 貫通部の埋め戻し不要。
● 貫通部に差し込むだけの簡単施工。

オイルバニッシュ



● 高い油脂分解性の微生物製剤。
● 浮上油脂の廃棄処分を大幅に削減。
● 自動投入で作業負担軽減。

主力分野の 市場見通し (対前年同期比%)	新設住宅着工戸数	100 %程度
	内マンション	98 %程度
	民間非住宅着工	102 %程度
市場見通し 解説	● 新築市場全体では、建設コストや住宅金利上昇等の懸念等のマイナス要因があるものの、前年度とほぼ同水準と予想。うちマンション分野は微減ながら非住宅案件で微増と予想。	
営業方針 施策	● 省力化、省施工化のニーズが高まっている中、遮音FDP拡販を軸にシェアアップを図る。	
注力・重点商品		

遮音FDP



- 配管施工のみで従来の耐火二層管GW+遮音シートと同等以上の性能。

東京WEBみらい市サイトオープン (9月20日)

東京WEBみらい市サイトはこちらから▶

<https://web-mirai.jp/mirai?streamer=1001>





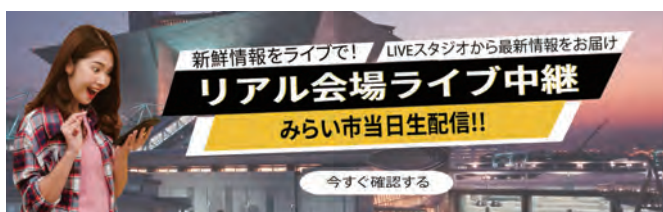
リアルに展示される商品をWEBサイトから投票



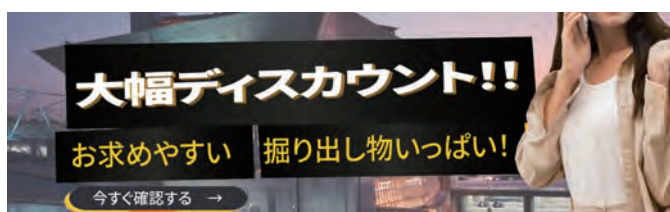
一押し商品の紹介動画



会場レイアウト図はこちらからご確認ください



会場の情報をライブでご紹介

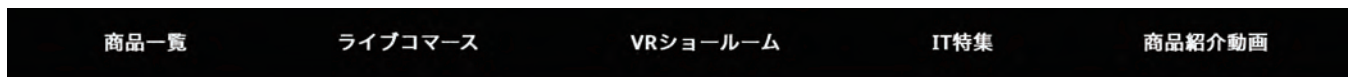


各種商品を取り揃えています

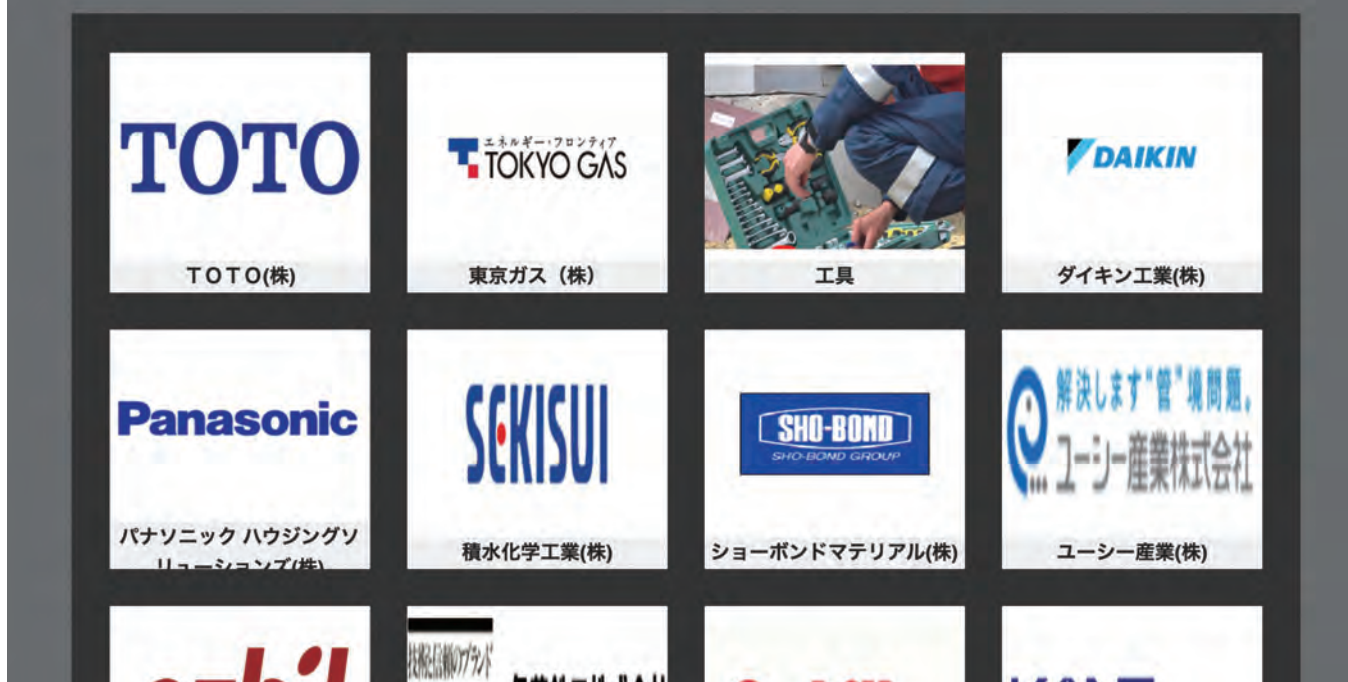


鎌田塾。やさしい語り口でご説明

▼商品紹介動画では、多数メーカーの動画をご覧いただけます。



商品紹介動画コーナー





住まいを取り巻く建築雑談

最近の建築関連法改正等 4号特例とは⑤

一級建築士&FP(ファイナンシャルプランナー)事務所
FP& 建築アトリエ
一級建築士
ファイナンシャルプランナー
防災まちづくり統括設計専攻建築士
福祉施設統括設計建築士

荒尾博

前回、建築、土木で最も使われているトラス構造について述べました。木造構造では筋交い構造が該当し、ほとんどのケースで使われています。ただし、その使われ方には問題があります。4号特例の現段階で云うと木造住宅のほとんどは構造計算されていないと言っても過言では無かったです。そうした背景から2025年「4号特例廃止」に伴い、新築木造住宅の建築確認申請で構造安全性の確認(検証)が必要となったのです。

1 天然木が故のバラツキ

建築構造躯体になる材料は、木材、鋼材(鉄)、コンクリートなどいろいろありますが、木以外は工業製品で強度など品質精度のバラツキを考慮することは無いのですが、木造の構造検討ではそう単純ではありません。

まず頭に浮かぶのは材料の強度が大きく左右されることです。たとえば、楕円模様?の木目は見る分には美しいのですが、強度のバラツキからは疑問が残ります。まして、節があれば弱点になってしまいます。

木材は種類、生育条件、年輪構造、細胞構造、節などの因子は繊維走行や密度に影響し、引張強度、圧縮強度、曲げ強度のバラツキを考慮しなければならない弱点があります。また、木材は鋼材やコンクリートと

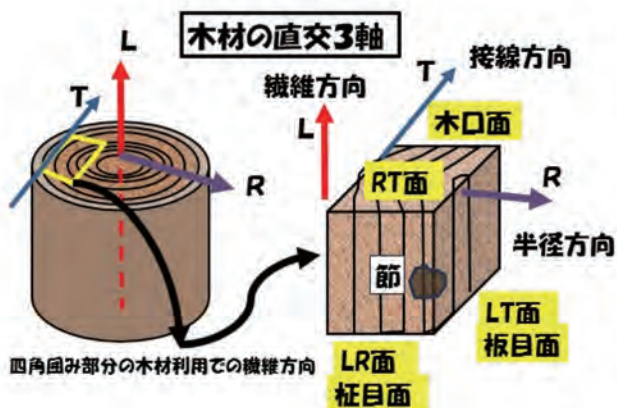
違って、方向によって特性の異なる「異方性」を持つ材料であり「乾燥収縮」「強度・ヤング係数」に関して顕著になることも考慮が必要です。

木材は含水率が30%以下になると画1の接線方向、半径方向に収縮しますが、繊維方向にはほとんど変化しません。大工さんなど施工ではこのことを理解して木組みをしているのです。そんなバラツキがあっても構造躯体として成り立っているのです。また、住宅の重量のイメージは木造が一番軽く、鉄骨さらにRC(鉄筋コンクリート)は重いイメージがあります。それもそのはず、単純に引張強度では、木材は鉄骨の4倍、RCの35倍も強いのです。

2 建築基準法と構造検討

地震が多い日本では耐震性能は重要でその技術水準は世界有数と言っても過言ではありません。その要となる建築基準法(以下、法)の「建築構造」と「構造検討」について考えてみます。

建築構造とは建築物にかかるいろいろな応力へ抵抗する骨組み(耐力上主要な部分=構造躯体等)と構成している材料などを指します。構造検討は、建築物にかかる応力である、固定荷重(建築物自体の重さ)、積載荷重(人や家具などの重さ)、積雪荷重、風圧力、地震力、土圧(基礎等への圧力)、水圧(地下など)に耐える安全な建物をつくるための基準が法施行令



画1 木材の部位活用イメージ

(以下、令)の「構造関係規定」に定められているのです。

その上で建築物を設計するときには「構造計算」で安全を確かめることが定められており、構造や規模高さなどでそれぞれの選択する必要があります。(法 20 条建築物の分類)

①許容応力度計算

小規模建物など(構造計算の基本となる構造計算手法)

②保有水平耐力計算

中規模建物など (高さ 31 m以下)

③限界耐力計算

主に高層建物など (高さ 31 ~ 60 m以下)

④時刻歴応答解析

超高層建物など (高さ 60 m超)

具体的には画 2 のように建築物の分類別に①~④と補足等計算を加えて対応することとなります。

次に実際に構造計算は大きく 4 つに分けたルート(道筋) を流れていく形で検討していきます。

ルート 1 : 許容応力度計算 (建物にかかる応力が材料等の耐力以上かを確認する)

ルート 2 : 建物の変形 (層間変位角) やバランス (偏心率) が一定の数値以下か確認する

ルート 3 : 保有水平耐力計算 (大地震時に建物一部損壊でも全壊しないか確認する)

まず、一次設計としてルート 1 を検討した後に建物の高さや規模などでルート 2、ルート 3 へと高度な計算をする義務があるのです。

構造計算との関係では

①許容応力度計算 (ルート1)

② (ルート1) + 層間変位角+偏心率 (ルート2)

③ (ルート1) + (ルート2) + 限界耐力計算 (ルート3)

④法 20 条1項一号の建築物 (超高層建物) (ルート4)

ちなみに一般的な木造住宅の場合は (ルート 1) で検討することになります。

ここまでの説明でも判りづらいと思いますが、4号特例など木造住宅について 2025 年改正施行以降の構造検討では許容応力度計算が対応することになりますが、この部分で注意が必要な点があります。じつは、構造計算では無く、簡略化した計算によって安全性を確認する方法 (壁量計算等) が残されそうなのです。(画 2 - 低層建築物 (1 項四号)) その理由は 2025 年法改正施行前までの段階では 4 号特例の木造住宅等は都市計画区域外では建築確認申請が不要で、申請が必要な都市計画区域内でも構造計算は不要だったので。耐震性については法改正で構造計算の場合、専用ソフトで数百ページの計算書作成など設計費用がかさむことなどから小規模木造であれば簡易の壁量計算でも可としたのです。それでも改正省エネ基準対応での高断熱工事や省エネ機器仕様など施主様の負担増は認めません。

さらに品確法 (住宅品質確保促進法) の性能表示制度を利用した場合、壁量計算に加えて、床・屋根倍率の確認と床倍率に応じた横架材接合部の倍率も検討する必要があります。法改正以後の建築確認申請等での扱いについては次号に続きますが、この辺は実に複雑なのです。

建築基準法第 20 条	建築物の規模	分類	構造検討
1 項一号	60m を超える建築物	超高層建築物	時刻歴応答解析
1 項二号	31m を超え、60m 以下の建築物	高層建築物	限界耐力計算 許容応力度計算 + 保有水平耐力計算
	31m 以下の建築物 (下記を除く)	高層建築物 / 中層建築物	許容応力度計算 + 保有水平耐力計算 許容応力度計算 + 偏心率 + 剛性率の計算
1 項三号	中規模な建築物	中層建築物 / 低層建築物	許容応力度計算
1 項四号	小規模な建築物	低層建築物	許容応力度計算
			壁量計算 + 四分割法 + N 値計算法

画 2 法 20 条建築物の分類と構造検討イメージ

住宅リフォーム～動機付けがポイント

国土交通省が2023年6月に発表した「建築物リフォーム・リニューアル調査報告」によると、2022年度の住宅関連のリフォーム工事受注額は前年度比4.6%増加した。緩やかな増加傾向が続くと見込まれる住宅リフォーム市場だが、今後資材高騰が続けば控える動きが出始める可能性もある。継続した受注には、住宅の経年化と居住者のライフステージのタイミングに加え、いかに動機付けするかが重要といえる。

ライター 玉城麻子

住宅関連は3.9兆円

2022年度の建築物リフォーム・リニューアル工事全体の受注高は前年度比1.2%減の11兆5,545億円となった。このうち、住宅関連工事は同4.6%増の3兆9,200億円、非住宅関連は同4.0%減の7兆6,344億円だった。

住宅について、工事種類別でみると、「改装・改修工事」が3兆630億円(同5.5%増)と全体の78.1%を占めており、以下「維持・修理工事」6,977億円(同3.0%増)、「一部改築工事」1,084億円(9.0%増)、「増築工事」500億円(同27.4%減)と続く。

このうち、業種別受注高(資料1)では、「建築工事業」

が最も大きく2兆3,889億円(同15.7%増、シェア60.9%)、「職別工事業」が1兆684億円(同18.6%増、シェア27.3%)の順に多い(以下、「管工事業」2,659億円(同21.0%減、シェア6.8%)、「一般土木建築工事業」1,050億円(同20.2%減、シェア2.7%)、「電気、機械器具設置工事業」642億円(同77.3%減、シェア1.6%)。)

住宅種類別では、「一戸建住宅」(2兆1,334億円・同7.1%増)が54.4%、「共同住宅」(1兆7,039億円・同3.7%増)が43.5%と、やや戸建住宅の占める割合が多いことがわかる。発注者の比率では、「個人」(2兆6,122億円・6.0%増)が66.6%、「管理組合」(6,405億円・10.5%増)が16.3%と、個人の発注が多かった。

劣化や更新・修繕が大半

では実際に、こういったリフォーム・リニューアル工事が行われているのか。

同調査によると、「劣化や壊れた部位の更新・修繕」(受注高ベース)が戸建住宅では84%、共同住宅は94%と大半を占めている。

工事目的と工事部位(受注件数)を組み合わせた結果(資料2)では、「劣化や壊れた部位の更新・修繕」が最も多かった部位は「給水給湯排水衛生器具設備」で、次いで「内装」「建具」と続く。

「省エネルギー対策」においても、「給水給湯排水衛生器具設備」が最も多い。これは、節水対策や給水・給湯機器の省エネ化(ヒートポンプなど)などが想定される。さらに、脱炭素化に向けて自治体でも導入を推進し始めている「太陽光発電設備」も、受注件数が増加していることも特徴となっている。

このほか、「高齢者・身体障害者対応」では「内装」が約5割を占め、「防災・防犯・安全性向上」では「外構」が全体の4分の1を占めている。また、「耐震性向上」としては、「内装」「基礎躯体」が同等規模を占めた。

受注高では築20～30年、件数では築10年が最多

工事時期と築年数をみると、「1991～2000年」が14.7%、「2001～2010年」は13.4%、「1981～

【資料1】業種・業者規模別 受注件数・受注高(住宅)

(単位:件、億円、対前年度比%)

業種・業者規模 (業者規模の区分は年間完成工事高別)	調査対象者数*		受注件数		受注高	
	前年度	対前年度比%	前年度	対前年度比%	前年度	対前年度比%
計	69,365	7.6	7,404,123	13.8	39,200	4.6
一般土木建築工事業	2,465	1.0	44,782	▲39.4	1,050	▲20.2
3億円未満	2,084	1.8	19,450	▲57.7	439	2.6
3億円以上200億円未満	363	▲3.6	21,486	▲12.9	351	▲30.8
200億円以上	17	13.3	3,846	15.6	260	▲31.7
土木工事業	3,465	▲5.2	53,403	213.4	275	▲13.8
5,000万円未満	3,118	▲2.7	47,719	243.5	186	▲36.5
5,000万円以上	348	▲22.8	5,684	80.4	89	239.5
建築工事業	38,172	10.8	4,264,359	14.3	23,889	15.7
1億円未満	29,568	16.8	1,423,399	74.3	5,596	11.4
1億円以上2億円未満	3,837	▲9.9	348,259	22.2	2,216	▲6.6
2億円以上5億円未満	2,824	▲4.0	372,342	23.4	2,207	21.7
5億円以上10億円未満	1,031	8.4	213,772	44.6	1,728	39.1
10億円以上500億円未満	893	▲6.4	1,456,075	▲14.9	10,163	27.9
500億円以上	19	0.0	450,512	▲3.9	1,979	▲11.8
職別工事業	15,048	13.9	2,045,540	60.0	10,684	18.6
1億円未満	14,042	15.4	720,403	52.8	2,092	1.3
1億円以上100億円未満	1,003	▲3.1	974,298	26.6	6,968	8.6
100億円以上	4	▲20.0	350,839	825.8	1,624	209.6
管工事業	5,052	0.1	837,859	▲16.0	2,659	▲21.0
1億円未満	4,543	0.7	255,909	▲26.1	513	▲22.1
1億円以上	510	▲4.7	581,950	▲10.6	2,147	▲20.7
電気、機械器具設置工事業	5,163	▲8.7	158,180	▲61.0	642	▲77.3
2億円未満	5,063	▲7.9	122,349	▲38.6	406	▲71.3
2億円以上	99	▲35.7	35,831	▲82.6	236	▲83.3

注) 復元集計のため、丸め誤差(調査票記載単位千円から億円への標準単位変換)により、「計」は必ずしも一致しない。
 ※) 調査対象者数とは、各区分において、住宅に係る建築工事・建築設備工事の実績のあるすべての調査対象者数で、建設工事施工統計調査から推計したものを示す。

【資料2】 主たる工事目的、工事部位別 受注件数

(単位: 件)

主たる工事目的	工事部位 (複数回答)	総数	建 築						設 備										外構	その他
			基礎 躯体	屋根	外壁	内装	建具	その他 建具	防災関連 設備	電気 設備	中央 監視 設備	昇降機 設備	空調和 換気設備	給水給湯 排水衛生 器具設備	廃棄物 処理 設備	太陽光 発電設備	その他 設備			
住宅	計	7,404,131	107,110	673,749	585,067	1,674,305	1,135,773	644,879	49,555	563,056	3,168	9,975	382,129	2,397,504	5,795	19,826	336,068	249,615	240,705	
	劣化や壊れた部位の 更新・修繕	6,922,591	90,253	642,194	555,601	1,560,699	1,056,502	590,938	43,332	503,753	2,860	9,400	352,457	2,279,553	5,115	4,063	300,804	212,066	221,430	
	増床	5,796	4,147	2,852	3,616	3,074	1,943	2,072	106	1,951	3	2	1,438	1,450	3	1	64	424	6	
	省エネルギー対策	135,032	410	6,858	3,918	10,834	38,029	9,285	391	20,537	0	0	9,021	50,676	260	14,793	7,479	676	1,050	
	高齢者・身体障害者 対応	63,994	1,611	1,179	1,472	31,939	8,076	9,894	885	2,536	4	298	3,148	14,444	0	885	10,443	4,450	2,013	
	防災・防犯・安全性 向上	45,046	129	5,458	1,287	2,986	7,491	5,103	4,045	4,640	301	270	539	1,465	255	0	5,050	10,992	1,991	
	用途変更	614	3	16	16	612	16	8	1	263	0	1	152	484	0	0	3	5	0	
	耐震性向上	8,857	3,020	2,294	1,449	3,277	1,678	724	24	712	0	2	459	1,100	4	0	28	317	240	
	屋上緑化、壁面緑化	1,027	2	104	428	0	0	488	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	
	アスベスト対策	513	0	350	170	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
	その他	220,661	7,534	12,443	17,111	60,884	22,036	26,368	771	28,664	0	2	14,915	48,331	158	83	12,198	20,680	13,974	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

注) 当該工事目的が、選択肢の工事目的(10項目)に照らして、「主たる工事目的」と回答された件数(総数)に対し、該当する工事部位を選択肢の工事部位(17項目)に照らして、回答(複数回答)された件数である。このため、表中の「総数」と「計」とは一致しない。

【資料3】 建築の時期、主たる工事部位別 受注件数

(単位: 件)

主たる 工事部位	計	建 築						設 備										外構	その他
		基礎 躯体	屋根	外壁	内装	建具	その他 建具	防災関連 設備	電気 設備	中央 監視 設備	昇降機 設備	空調和 換気設備	給水給湯 排水衛生 器具設備	廃棄物 処理 設備	太陽光 発電設備	その他 設備			
住宅	7,404,131	90,133	561,626	506,947	1,462,891	914,170	564,401	38,196	351,332	2,410	6,548	268,489	2,017,493	4,068	11,695	225,233	211,905	166,595	
	2011年以降	869,825	27,511	34,860	53,473	206,568	135,251	83,388	5,632	53,683	0	1,144	35,342	107,906	1,394	2,648	37,234	51,608	32,184
	2001~2010年	811,835	13,436	45,080	75,111	130,354	105,803	64,530	9,087	43,849	294	907	40,095	202,630	2,256	1,101	31,087	20,203	26,012
	1991~2000年	790,164	7,135	59,198	63,642	152,859	109,190	66,763	7,858	51,542	190	548	33,313	185,165	71	1,092	19,293	16,757	15,547
	1981~1990年	571,454	4,535	36,257	32,505	128,638	65,469	37,603	4,352	26,071	495	693	17,295	173,757	0	0	15,638	11,619	16,529
	1971~1980年	303,787	3,264	24,229	20,962	70,463	35,729	26,939	1,333	13,108	1,131	116	8,332	80,350	0	37	5,475	7,929	4,390
	1961~1970年	77,621	2,184	7,623	4,868	32,987	5,237	2,769	0	1,780	0	0	1,388	16,358	0	0	290	2,138	0
	1951~1960年	12,958	374	3,213	328	2,341	377	1,193	0	1,613	0	0	869	997	0	0	1,212	0	442
	1950年以前	12,045	310	774	701	4,843	697	1,343	256	428	0	0	612	1,355	0	353	0	372	0
	不明	3,954,441	31,385	350,391	255,359	733,839	456,416	279,873	9,678	159,258	301	3,141	131,244	1,248,975	347	6,462	115,003	101,279	71,491

出所: 資料1~3とも国土交通省「建築物リフォーム・リニューアル調査報告(令和4年度計)」

1990年]は11.5%だった。ここから、築20~30年あたりを中心に、その前後10年で受注されることが多いことがわかる。一方、建築時期と主たる工事部位別受注件数(資料3)をみると、大半の部位で「2011年以降」が最も多い結果となっている。このことから、築年数20年以上の場合は1件当たりの受注額が高い工事内容が多く、築浅物件の場合は比較的1件当たりの受注額が低いことが示されている。

「2011年以降」(築10年以下)で多い工事部位は、「内装」「建具」「給水給湯排水衛生器具設備」の順。実際に生活している中で、不便に感じた部分の改修などが中心になっていると考えられる。「2001~2010年」「1991~2000年」「1981~1990年」(築20~40年)の住宅においても、同様の部位が上位に入っているが、ボリュームゾーンは多少異なる。例えば、「内装」では「2011年以降」が最も件数が多いが、次の「山」は「1991~2000年」になっている。一方、「給水給湯排水衛生器具設備」では、「1981~1990年」から急増し「2001~2010年」が最多に。理由には、築浅物件は利便性、築古物件では老朽化などが想定できる。

金額は「50万円以下」が8割

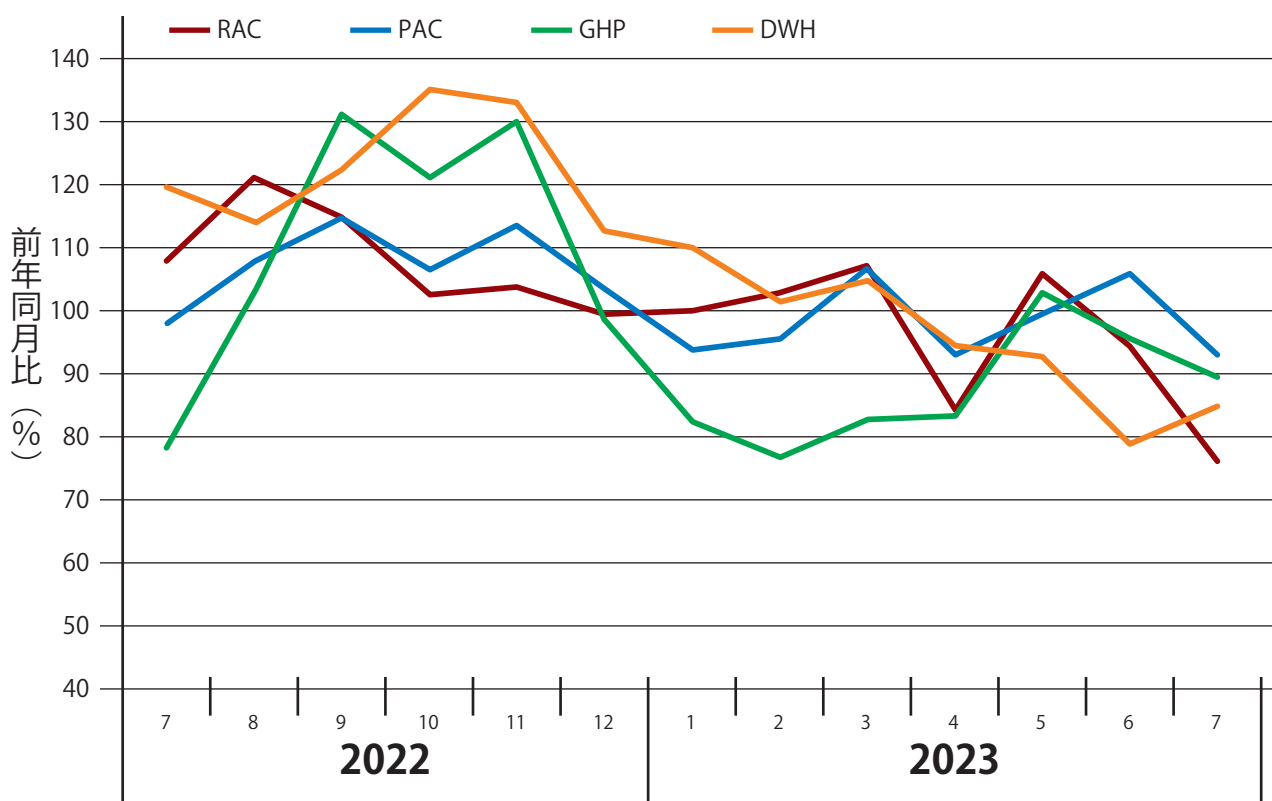
個別工事の受注額については、住宅全体の8割が「50万円未満」。この割合は、「一戸建住宅」、共同住宅の「専有・専用部分」「共用部分」においても同様となっていることから、住宅におけるリフォーム工事が小規模なものから始まることを示している。

調査結果から、建築物躯体(構造物)や設備の劣化や破損の更新・修繕がリフォームの最初の機会となっており、徐々にその対象・範囲が広がっている。この最初のリフォーム工事の際に、現況から各設備がどの程度使用可能か、段階的にどういったリフォーム工事が必要なのか、発注者(居住者)に正しく伝えることができれば、将来のリフォームに向けた心づもりができるようになる。その際、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」の住宅性能表示制度に基づく「建設住宅性能評価書」を活用すれば、信頼性の向上にもつながるだろう。また、毎年税制優遇や各種補助・助成制度も追加・更新されることから、これら情報も継続的に提供し、納得感のあるリフォームにつなげてほしい。

最近のエアコンとヒートポンプ給湯機の国内出荷実績

	5月		6月		7月	
	台数	前年比	台数	前年比	台数	前年比
家庭用（ルーム）エアコン（RAC）	849,199	105.7	1,283,189	94.2	1,106,373	76.2
業務用（パッケージ）エアコン（PAC）	57,886	99.3	84,006	105.9	78,140	92.9
ガスエンジンヒートポンプエアコン（GHP）	1,844	102.8	1,704	95.5	1,623	89.6
家庭用ヒートポンプ給湯機（DWH）	49,888	93.0	48,046	78.8	48,589	84.8

RAC・PAC・GHP・DWHにおける国内出荷の前年同月比の推移



[注]

- 1)家庭用エアコンは、ウインド形および小型セパレートエアコンが含まれます。
- 2)業務用エアコンは、主として事務所・店舗等のビル用に設計されたエアコンです。中・大形のセパレート形やシングルパッケージ形、リモートコンデンサー形があります。「ビル用マルチ」と呼ばれるものも含まれます。
- 3)ガスヒートポンプエアコンは、都市ガス、LPガスを使ったエンジン駆動のヒートポンプ式エアコンです。
- 4)家庭用エアコン（'22.04）、業務用エアコン（'22.04～07）の修正後の値です。

[出典]一般社団法人 日本冷凍空調工業会 統計データより



システムキッチン ザ・クラッソ

reddot賞 「best of the best」 受賞

システムキッチン「THE CRASSO (ザ・クラッソ)」は、“美しい、使いやすい、きれい”をコンセプトに、心ときめく美しさと、むだなく動ける使いやすさ、きれいが続く気持ちよさを兼ね備えています。



カウンター

3種全 17色を品揃えしています。

すりガラスのようなTOTO独自開発の「クリスタルカウンター」は、光を纏い優しく輝きます。汚れを放置してもシミになりにくく、簡単なお手入れでキッチンのきれいを保てます。

スクエアすべり台シンク

水や野菜ごみがスムーズに流れるよう、シンク底面、網かご、排水口にすべり台のような傾斜を付けました。ごみが溜まりにくく、いつもきれいが保てます。

水ほうき水栓LF

水はねしにくさと洗浄力を両立した、幅広のマイクロソフトシャワーは、ほうきのように水がパッと広がり、汚れをサッと落とします。

タッチレス「きれい除菌水」生成器

センサーに手をかざすと、除菌効果のある水がミスト状で噴霧されます。タッチレスなので水栓も汚しにくく、いつでも手軽に清潔を保てます。



商品サイトは
こちら▶



ネオレスト

発売 30 周年 最新のネオレストシリーズ

ウォシュレット一体形便器 ネオレストはグローバル統一モデルとして新たに「LS」を加えて品揃えを拡充、全タイプをモデルチェンジします。

日本国内では 2022 年 8 月 1 日（月）4 タイプ同時発売。



新商品の特長

- ①グローバル統一モデルを拡充し、ネオレストに新たに「LS」を加え、4タイプを品揃え。
- ②本体・リモコンのパーツカラー、同タイプのスティックリモコン」にも新色2色を品揃え。
- ③新機能「便座きれい」は便座裏の先端部分の汚れを漂白・除菌し、きれいが長持ち（搭載：NX・LS2・AS2）



LSの特徴

便器部：真横から見ても美しいサイドビューを備えた便器部に継ぎ目のない古スカート便器

デザイン：便ふたのウェーブライン、金属調アクセント、様々な建築と調和するDシェイプ



商品サイトは
こちら▶





アプリコット

8月発売ウォシュレット

洗練のフォルム、便器やノズル、
便座裏をきれいに保つ最新機能が充実。



使うたび除菌

便器もノズルも便座も、自動除菌で清潔つづく

きれい除菌水 : 水からつくられる安全な「きれい除菌水」が、汚れのもとになる「菌」を除菌。

便器きれい : 使用前に便器ボウル面にミストを自動で噴霧し、汚れを付きにくく（プレミスト）。トイレ使用後と8時間使用しない際には「きれい除菌水」のミストを自動で便器ボウル面にふきかけ、便器のきれいを持続。

ノズルきれい : 「ウォシュレット」使用前後に水でノズルを洗浄する「セルフクリーニング」に加え、トイレ使用後は「きれい除菌水」がノズルの内側も外側も自動で洗浄・除菌。待機中も定期的に洗浄しノズルのきれいが長持ち。

便座きれい : トイレ使用後に「きれい除菌水」を便座裏の先端部分までふきかけ。普段見えず汚れに気づきにくい便座裏のきれいが長持ち。

においきれい : トイレの1日の使用時間を学習し、よく使用する約1時間前から作動。使用時間中トイレ空間の気になるニオイを取り込み、においきれいカートリッジに捕集して脱臭。「きれい除菌水」で、においきれいカートリッジを洗浄・除菌。

お掃除ミスト : 清掃時、リモコンのボタンで便器内便座裏の先端部分に「きれい除菌水」のミストを噴霧。汚れを浮き上がらせるのでお掃除がしやすく、見えない汚れのふき残しも防ぎます。



おそうじ超ラク

お掃除しやすいデザイン
フチなしウォシュレット
クリーン便座（つぎ目なし）

凹凸をそぎ落としたカタチでお掃除ラクラク

商品サイトは
こちら▶



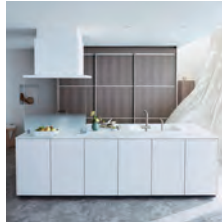
おすすめ商材

TOTO

 jp.toto.com

ザ・クラッソ

1. 自然光や照明など、当たる光によって表情を変えるクリスタルカウンター。
2. 清潔に保ちたいキッチンアイテムはきれいな除菌水でお手入れ。
3. 手をかざすだけでスムーズに吐止水できるタッチレス水ほうき水栓LF。



TOTO

 jp.toto.com

シンラ

1. 楽湯はたっぷりの水量と心地よい刺激で至福の時間を。
2. 空間を引き締めるブラックアイテムでよりモダンな空間を演出。
3. 瞑想ゆらぎモードのゆるる光のリズムが心と体を癒しの空間へと誘います。

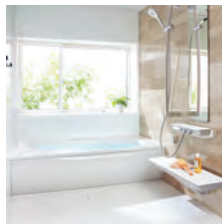


TOTO

 jp.toto.com

サザナ・マンションリモデルWY

1. 床ワイパー洗浄ならボタンひとつで洗浄+除菌仕上げ。
2. やわらかなほっカリリ床で足元に、いつもやさしさを。
3. 人間工学を応用したゆるりリラ浴槽で身も心もリラックス。



TOTO

 jp.toto.com

ネオレストLS・AS・RS

1. 優雅なウェーブラインに高級感漂う金属調のアクセント。
2. 「便座きれい」で使うたびに便座裏の先端部分の汚れを漂白・除菌。
3. 金属調カラーで統一感を。マテリアルカラーセレクション。



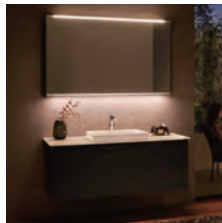
TOTO

 jp.toto.com

エスクア

新製品

1. すりガラスのように美しいクリスタルカウンターに白凧が新登場。
2. タッチレスLED照明で手を触れずにオン・オフができて清潔。
3. カウンターや幕板をカットすることで、間口ぴったり仕上げる片寄せボウルプラン。(エスクアLS)



TOTO

 jp.toto.com

アプリコット

新製品

1. 高級感と清掃性に優れるフルカバーデザイン。
2. 丸みを帯びた曲面がピュアレストEXとマッチし一体感が向上。
3. 便座裏の先端部分を漂白・除菌する「便座きれい」を搭載。(F4)



パナソニック

 panasonic.co.jp/phs/

1.5mmリフォームフローリング USUI-TA 直貼タイプ

新製品

1. 2023年4月発売。既存の防音直貼床材の遮音性能をほぼ保つことができる。
2. 騒音・粉塵・廃材を軽減、床暖房やバリアフリー住宅にも使いやすい1.5mmの厚み。



パナソニック

 panasonic.co.jp/phs/

ルームエアコン エオリア ELシリーズ

新製品

1. 2023年2月発売。こだわりの2色展開でお好みの空間づくり(ダークグレー色登場)。
2. 4.0kwクラス以上でZEH対応。
3. ナノイーX搭載でお部屋の空気もエアコン内部も清潔に!



リンナイ

 rinnai.jp

ECO ONE X5 プラグインモデル

新製品

1. 専用電源配線工事不要 業界初! 新開発のヒートポンプ制御技術。
2. 年間ランニングコスト約50%削減 CO₂ 排出量約45%削減。
3. Air Bubble Technology搭載 給湯器をラインアップ。



リンナイ

 rinnai.jp

ガス衣類乾燥機 乾太くん

新製品

1. 4人分6kg1時間のスピード乾燥。大容量9kgモデルもラインアップ。
2. 機能的かつ質感にこだわったダイヤル式の操作パネルを採用。
3. 専用アプリで残時間の確認や完了通知の受取りが可能。



ノーリツ

 noritz.co.jp

ガスビルトインコンロ「Orche」(オルシェ) 新製品

1. トッププレートデザインを刷新し、機能美とお手入れ性を向上。
2. 業界No. 1のエネルギー消費効率を誇るスマートエコバーナーで、省エネ性も実現。
3. 調理中の鍋底温度を数値で表示する温度クック機能で、調理をサポート。



クリナップ

 cleanup.jp

STEDIA

1. 対面キッチンの開放感でもちょうどよく手元が隠せる。
2. お好みのワークトップと多彩な材質の対面カウンターを組み合せ。
3. お得感満載のスタイリッシュプランを同時にお届け。



LIXIL

 lixil.co.jp

ノクト

新製品

1. 料理のしやすさとデザイン性の高さで魅せる、シンクと水栓金具。
2. 大容量と取り出しやすさを両立させた料理がはかどる収納。
3. スリムな水平ラインがキッチンのイメージを変える。



コロナ

 corona.co.jp

プレミアムエコキュート

1. パワフルな給湯でシャワーもお湯はりも快適&スピーディー。
2. 年間給湯保温効率4.0を達成!
3. SMAミキシング弁を搭載で、停電時でもお湯が使える。



ダイキン工業

 daikin.co.jp

ルームエアコン うるさらX

1. 冷暖房、加湿、除湿、空気清浄が1台でできる史上最高機能を搭載。
2. 圧倒的な省エネ性能、長時間使うほど電気代を節約。
3. 過酷な環境下でもしっかり空調「タフネス暖房・冷房」。



ノーリツ

 noritz.co.jp

高効率ガスふろ給湯器 GT-C 72 シリーズ W除菌タイプ 新製品

1. 2つの除菌ユニットで浴槽水とふろ配管を除菌し、お風呂をもっと清潔に。
2. 入浴における深部体温の変化を推測する新技術で、健康的な入浴習慣をサポート。
3. フルカラータッチパネルリモコンで、さらに見やすく・使いやすく。



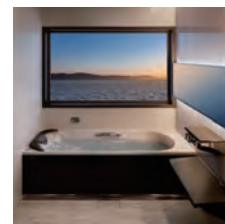
タカラスタンダード

 takara-standard.co.jp

グランSPA

新製品

1. 高級価格帯から普及価格帯まで幅広く提案が可能な新シリーズ。
2. 肩包み湯やうるぽか湯オートウォッシュなどオプション充実。
3. ホーロー壁パネルは40色、天井は3色のカラーバリエーション。



積水ホームテクノ

 sekisui-hometechno.co.jp

介護施設向ユニットバス wells KGS シリーズ

1. 自立～要介護高齢者まで幅広い身体状況に対応。
2. リフト取付や浴槽交換も可能。
3. 1616～2029まで幅広いラインナップ。



パナソニックAW

 panasonic.co.jp/phs/pawe/

SHOWER & POWDER NEW SP II

1. 3点ユニットと同じスペースで入替え可能。
2. 間仕切りで「バス・トイレ別」(シャワー)を実現。
3. 浴槽がなく水道光熱費削減。



ダイキン工業

 daikin.co.jp

スタイリッシュエアコン リソラS X

1. 薄さと色で理想の空間を彩るスタイリッシュエアコン。
2. ダイキン独自のストリーマ技術でウイルスやアレル源、匂いを除去。
3. 結露水洗浄機能付き。



三菱電機

 mitsubishielectric.co.jp

ヘルスエアー搭載 循環ファン

新製品

1. 空気中の有害物質の抑制、除去、脱臭。
2. 家庭用、業務用としても使用可能。
3. 約136円/月の低ランニングコスト。



三菱電機

 mitsubishielectric.co.jp

パッケージエアコン スリムZ R

1. AI搭載で建物の個性を学習し少し未来を先読み運転。
2. 定格能力の拡大 (P 40~P 160型)。
3. 冷媒チャージレス配管長拡大 (P 112~P 280型)。



東芝キャリア

 toshiba-carrier.co.jp

更新用ビル用マルチスーパーマルチ u

新製品

1. 既設の冷媒配管、配線の利用範囲が拡大し低コスト時短施工が可能。
2. 冷媒封入作業を省略するオートチャージ機能を搭載。
3. 霜付検知で連結室外機が時差で個別除霜し、室温低下がほぼ無い。



東芝キャリア

 toshiba-carrier.co.jp

スーパーマルチ mini P315 形

新製品

1. 高さ・奥行・設置面積で業界最小、手搬入、バンでも運搬可能。
2. R 410A 既設配管の再利用が可能。R 22配管も条件によっては可能。
3. 業界トップクラスの運転可能範囲、-25℃までの暖房運転が可能。



日立グローバルライフソリューションズ

 corp.hitachi-gls.co.jp

店舗用パッケージ 省エネの達人プレミアム

新製品

1. 低速運転時の圧縮効率を向上し、業界トップクラスのAPFを実現。
2. 適正冷媒量を計算、負荷率33%時、冷房運転で消費電力25%削減。
3. 新機能「室外ユニット熱交換器自動お掃除機能」を搭載。



日立グローバルライフソリューションズ

 corp.hitachi-gls.co.jp

I Hクッキングヒーター「旨味焼き」シリーズ

新製品

1. グリル内の温度差を少なくし、焼きムラを抑制、美味しく焼き上げ。
2. まるごと吹けるフラット庫内。
3. 操作部は全て天面に、表示が大きく見やすい。



テラル

 teral.net

直結給水増圧ポンプ MC 5 S

新製品

1. ポンプ部と架台部がセパレート構造になり、施工性が向上。
2. 狭小場所への搬入、メンテナンス性が向上。
3. 携帯メンテナンスツールを搭載、点検報告書の出力が可能。



荏原製作所

 ebara.co.jp

次世代型給水ユニット フレッシュ F 3100 NEO

1. ダウンサイジング：設置面積を約32%削減。
2. ライトウエイト：質量約44kg削減。
3. 設置自由度アップ：制御盤の向きの変更、別置き、壁掛け可能。



積水化学工業

 sekisui.co.jp

耐火プラAD継手「HG」「SG」

1. 遮音設計を一新。非常に高い遮音性を実現します。
2. VP管との認定を取得。経済的な配管が可能。
3. 継手重量はADスリムの約1/3。簡単に持ち運びできます。



積水化学工業

 sekisui.co.jp

エスロハイパーAW 高圧消火管・継手

1. 最高使用圧力1.6MPaで日本消防設備安全センター認定取得。
2. 酸性、アルカリ性土壌でもOK。電食の心配もありません。
3. 軽量な為、取扱いやすく、施工率がアップします。



キット

 kitz.co.jp

エスロハイパーAW用ゲートバルブ

新製品

1. 積水化学工業製の配管システムのE F接合方式で省力化。
2. 施工が早いため、断水時間の削減効果が期待。
3. 接続は「差し口」と「E F受口」の2タイプ。



ブリヂストン

 bridgestone-dpj.co.jp

プッシュマスターらく楽R (一部エリア先行発売)

新製品

1. サポートスリーブ差し込みの手間なし。
2. インコア構造でも流路径を確保。
3. 2重安全設計ダブル止水リング、防塵対応。



タブチ

 tabuchi.co.jp

eフレキ

新製品

1. フレキ管はステンレス鋼を使い、軟質塩化ビニルで外面被覆。
2. Oリング材料には耐熱性に優れたフッ素ゴムを使用。
3. P S内のP E管に直接接続可能な変換継手もラインナップ。



因幡電機産業

 inaba.co.jp

給排水用耐火テープ

1. 給水給湯用：50種以上の配管に対応、認定/評定取得は400以上。
2. 排水用：塩ビ管200Aに対応、面一仕上げもOK。
3. 配ボリ用：各メーカーの呼び径200Aに対応。



ワキタ

 wakita.co.jp

エアームーバー MAM 200

1. 壁、床の乾燥等、マルチに活躍。サーキュレーターとしても使用可能。
2. 風速3段階切替。
3. 最大3台まで連結可能。



ベンカン

 benkan.co.jp

冷媒ダブルプレス

新製品

1. ボディーは高耐久のステンレスSUS304を採用。
2. ダブルプレスの安心を継承、プレスするだけの簡単施工。
3. 継手とパイプの凹凸が少なく、配管は一体感ある仕上がり。



前澤化成工業

 maezawa-k.co.jp

後付け逆流対策弁

1. 豪雨時における下水本管からの排水やエアの逆流を軽減。
2. 既設ビニマスやコンクリートマスに(VU150)取り付け可能。
3. 汚物が乗り越えやすい逆段差形状。



アキレス

 achilles.jp

洗濯機防水パン用ソケット付きフレキ

新製品

1. ソケットが付き作業効率向上が期待できます。
2. 200mm、250mm、300mmの3つのサイズ展開。
3. 従来品通り曲げ、芯ずれに対応。



シーケー金属

 ckmetals.co.jp

T Lジョイント

新製品

1. 業界トップクラスの低トルクを実現、従来より小型工具で施工可能。
2. 座金がガッチリとナットを固定、一目でわかる緩み止め機能を採用。
3. オレンジラインがナットの締付により隠れ、施工完了を一目で確認。



マキタ

 makita.co.jp

充電式保冷温庫 CW 004 G Z

新製品

1. マキタバッテリーで-18℃~60℃保温。
2. 2部屋モード切替機能付。
3. 2ℓペットボトル縦置き可能。





THE CRASSO

ザ・クラッソ



SYNLA

シンラ



ESCUA

エスクア



NEOREST

ネオレスト

水まわり嬉しい

キッチンがあかると、
浴室がきもちいと、
洗面所が使い心地いと、
トイレがいつもクリーンだと、
ひとは嬉しいものですね。
TOTOはかなえたい。
あなたの、水まわり嬉しいを。

TOTO技術相談室 電話:0570-01-1010
受付時間:(平日)9:00~18:00(土曜日)9:00~17:00
(日・祝日・夏期休暇・年末年始・当社所定の休日等を除く)

建築専門家のための情報サイト
COM・ET(コメント)
<https://www.com-et.com>

東陶屋キャンペーンサイト

<https://jp.toto.com/pages/knowledge/campaign/totoya>

